データ通信専用機種 L-02C

ISSUE DATE: '10.12

NAME:

PHONE NUMBER:

MAIL ADDRESS:

取扱説明書（日本語/ENGLISH） 接続ガイド

NTT docomo

ドコモ LTE・W-CDMA・GPRS方式

このたびは「データ通信専用機種L-02C」をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書およびその他のオプション機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

L-02Cは、お客様の有能なパートナーです。大切にお取り扱いの上、末長くご愛用ください。

本端末のご使用にあたって

- 本端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中で電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所、XiサービスエリアおよびFOMAサービスエリア外ではご利用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが3本立っている状態で移動せずに使用している場合でも通信が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、周りの方の迷惑にならないようにご使用ください。
- 本端末は無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなどして送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の送信内容と異なる内容となって受信される場合があります。
- 本端末の誤動作、あるいは停電時などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失については、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末は、Xiエリア、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- 本端末は、ドコモの提供するXiネットワーク、FOMAネットワークおよびドコモのローミングサービスエリア以外ではご使用になれません。
  This terminal can be used only via Xi network, FOMA network provided by DOCOMO and DOCOMO's roaming area.
- 本端末では、ｉモード機能（ｉモードメール、ｉモードのサイト（番組）への接続、ｉアプリなど）には対応しておりません。

はじめて本端末をお使いになる方へ

はじめて本端末をお使いの方は、まず、本書を次の順序でお読みください。本端末をお使いいただくための準備と基本的な操作を、ひととおりご理解いただくことができます。

本書についての最新情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。

■ 取扱説明書（PDFファイル）ダウンロード
http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html

※ URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた／引きかた

記載内容について

L-02Cの取扱説明書は、『L-02C取扱説明書～接続ガイド～』（本書）と『L-02C取扱説明書』（付属のCD-ROMに収録）で構成されています。

■『L-02C取扱説明書～接続ガイド～』（本書）
パソコンへの接続方法、困ったときの対処方法、L-02Cの仕様など、次の内容を記載しています。

- 目次／注意事項
- ご使用前の確認
- セットアップ
- 付録／困ったときには

■『L-02C取扱説明書』（付属のCD-ROMに収録）
上記『L-02C取扱説明書～接続ガイド～』の内容に加えて、専用アプリケーションによる通信設定方法など、次の内容を記載しています。
本書はPDFでの提供となります。ご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。

- L-02C 接続ソフト
- モバイルブロードバンド
- 通信の手動設定
- 海外利用

本書の引きかたについて

本書では、知りたい機能やサービスがすぐに探せるように、次の検索方法を用意しています。

索引から **P63**

探したい機能名やサービス名がわかっているときは、ここから探します。

表紙インデックスから **表紙**

表紙のインデックスを利用して、機能やサービスを探します。

次ページで詳しく説明しています。

目次から **P5**

機能ごとに分類された目次から探します。

主な機能から **P6**

主な機能を利用したい場合はここから探します。

- この『L-02C取扱説明書』の本文中において、「L-02C」を「本端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- この『L-02C取扱説明書』の本文中において、「Windowsパソコン」「Mac」の総称を「パソコン」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- お使いの環境によっては、操作手順や画面が一部異なる場合があります。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

Macintosh版のL-02C 接続ソフト（ドライバ含む）のインストールを例に記載ページを探す方法を説明します。

索引から
▶P63
次の例のように、機能名やサービス名などを探します。

P43
Macintosh版のL-02C 接続ソフト（ドライバ含む）のインストールの説明ページへ

次のページへ

表紙インデックスから
▶表紙
次の例のように、表紙インデックス→章の最初のページ→目的のページの順に探します。

ご使用前の確認
セットアップ
付録／困ったときには
Contents/Precautions
Before Using this Terminal
Setting Up

セットアップ

※：上記のページはサンプルです。本文中のページとは異なります。
※：本書の掲載されている画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。

目　次

L-02Cの主な機能

「Xi」（クロッシィ）とは、LTE（Long Term Evolution）という国際標準化された通信規格に支えられたドコモのサービス名称です。
FOMA（Freedom Of Mobile multimedia Access）とは、第3世代移動通信システム（IMT-2000）の世界標準規格の1つとして設定されたW-CDMA方式をベースとしたドコモのサービス名称です。

■ Xiデータ通信に対応

受信最大37.5Mbps、送信最大12.5Mbpsの高速データ通信（Xiエリア内一部の屋内施設では受信最大75Mbps、送信最大25Mbps）。光回線並みのスピードと常時接続に近い短時間アクセスで、ブロードバンドを快適に楽しめます。

- 通信速度は、送受信時の技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。ベストエフォート方式による提供となり、実際の通信速度は、通信環境やネットワークの混雑状況に応じて変化します。
- Xiエリア外の場合、FOMAエリアでもご利用いただけます。
- Xi対応エリアの詳細についてはドコモのホームページをご確認ください。

■ FOMAハイスピードエリアに対応

受信最大7.2Mbps、送信最大5.7Mbps（ベストエフォート方式）の高速パケット通信を楽しむことができます。

- 通信速度は、送受信時の技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。ベストエフォート方式による提供となり、実際の通信速度は、通信環境やネットワークの混雑状況に応じて変化します。
- 送信時最大5.7Mbpsの対応エリアの詳細についてはドコモのホームページをご確認ください。
- FOMA ハイスピードエリア内であっても、場所によっては送受信ともに最大384kbpsの通信となる場合があります。
- FOMAハイスピードエリア外のFOMAエリアにおいては、送受信ともに最大384kbpsの通信となります。

■ 国際ローミングサービス対応

海外でも3GネットワークやGPRSネットワークを利用して、パソコンからデータ通信ができます。▶『L-02C取扱説明書（PDF）』P90

※ 「WORLD WING」は通常ご契約時にあわせてお申込みいただいておりますが、My docomo、ドコモショップおよびドコモ インフォメーションセンターでご確認ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

表示	内容
⚠ 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合、および、物的損害の発生が想定される」内容です。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

絵表示	内容
禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。

絵表示	内容
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。

■「安全上のご注意」は下記の4項目に分けて説明しています。

本端末、ドコモUIMカードの取り扱いについて（共通）

危険

禁止

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

警告

禁止

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

USBコネクタに導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどの原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末を接続しているパソコンの電源をお切りください。
ガスに引火する恐れがあります。

⚠ 注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

本端末の取り扱いについて

⚠ 警告

禁止

本端末内のドコモUIMカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本端末を接続しているパソコンの電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末をUSBポートから抜いてください。
電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

⚠ 注意

禁止

本端末が破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
各箇所の材質について⇒P12「材質一覧」

指示

本端末を開閉する際は、指などを挟まないようご注意ください。
けがなどの事故の原因となります。

ドコモUIMカードの取り扱いについて

注意

ドコモUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。
けがの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

■**本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。**

警告

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には本端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、パソコンの電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、パソコンの電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、パソコンの電源を切ってください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部から本端末は22cm以上離して携行および使用してください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

使用箇所	材質／表面処理
外装ケース (フロント部)	PC LUPOY SC1004A (KPA1)／ SF CLEAR (無光 100%)
外装ケース (リア部：側面・裏面)	PC LUPOY SC1004A（KPA1）／ SF CLEAR（無光 100%）
リアカバー	PC LUPOY SC1004A（KPA1）／ SF CLEAR（無光 100%）
フロントカバー	PC LUPOY SC1004A（EM59P）／ SSCP 160 NCB（有8：無2）
外装ケース (リア部：表面)	PC LUPOY SC1004A（EM59P）／ SSCP 160 NCB（有8：無2）
ストッパー	URETHANE
電源ランプ	ILD-7550／拡散 PC (Milky)
通信状態表示ランプ	ILD-7550／拡散 PC (Milky)
USBコネクタブラケット	LG化学・SC2302（KA02）・ PC+GF30%／SF CLEAR（無光 100%）

取り扱い上の注意

共通のお願い

■**水をかけないでください。**
本端末、ドコモUIMカードは防水性能を有しておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身につけている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

■**お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

■**端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**
端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れる原因となりますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

■**エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■**本端末に無理な力がかからないように使用してください。**
多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりすると、内部基板などの破損、故障の原因となります。

■**本端末に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**

本端末についてのお願い

■**極端な高温、低温は避けてください。**
温度は5℃～35℃、湿度は45％～85％の範囲でご使用ください。

■**一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**

■**お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■**本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
故障、破損の原因となります。

■パソコンにUSBコネクタを接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
故障、破損の原因となります。

■移動するときは、本端末をパソコンから取り外してください。
故障、破損の原因となります。

■使用中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

■専用ケース（試供品）から本端末を取り出す場合は、本端末を落とさないようにしてください。

■ご使用にならないときは、端子が汚れないように専用ケース（試供品）に入れて保管してください。
端子が汚れていると接触が悪くなることがあります。

■専用ケース（試供品）に入れて保管する際は、水濡れや高温の場所での保管や、無理な力が加わらないようご注意ください。
変形、変色の原因となります。

ドコモUIMカードについてのお願い

■ドコモUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。

■IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。

■お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

■お客様ご自身で、ドコモUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■環境保全のため、不要になったドコモUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。

■ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

■ドコモUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。

■ドコモUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。

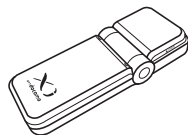
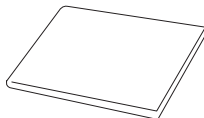
■ドコモUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けないでください。
故障の原因となります。

注意

■**改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。**
本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク〒」が本端末の銘版シールに表示されております。
本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。
技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

■**通信中は、本端末を身体から5mm以上離してご使用ください。**

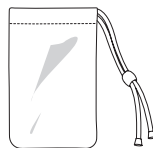
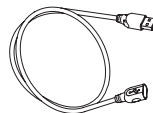
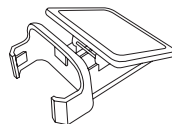
本体付属品

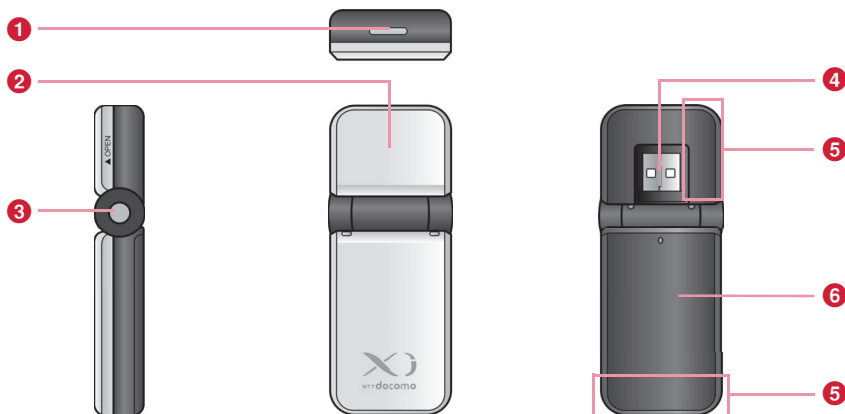
■ L-02C 本体（フロントカバー L01、 リアカバー L20、保証書含む）

■ L-02C取扱説明書～接続ガイド～

■ L-02C CD-ROM

- L-02C 接続ソフト（Windows用／Macintosh用）
- L-02C 接続先（APN）設定ツール（Windows用）
- L-02C取扱説明書（PDF形式）

※ ソフトウェアの仕様は予告なく変更される場合があります。

■ 専用ケース（試供品）

ご使用にならないときや持ち運びのときは、保護のため本端末を付属の専用ケースに入れてください。

■ USB延長ケーブル（試供品）

■ 固定用ホルダ（試供品）

ご使用前の確認

各部の名称と機能

❶ **通信状態表示ランプ→P19**
本端末の状態などを表示

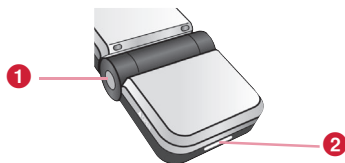
❷ **フロントカバー L01**
フロントカバー L01を取り付ける部分をフロント部と呼びます。

❸ **電源ランプ→P19**
本端末の電源供給状態を表示

❹ **USBコネクタ**
パソコンとの接続端子

❺ **アンテナ部**
アンテナは、本体に内蔵されています。

❻ **リアカバー L20**
リアカバー L20を取り付ける部分をリア部と呼びます。

ランプ表示について

本端末の状態		❶電源ランプ	❷通信状態表示ランプ
電源ON		ホワイト	-
通信中	LTE	ホワイト	ブルー
	W-CDMA(3G)	ホワイト	マゼンタ
	HSDPA	ホワイト	シアン
	HSUPA	ホワイト	シアン
	GPRS	ホワイト	グリーン
	パケット通信中（データ送受信なし）※	ホワイト	ブルーホワイト
圏外		ホワイト	イエロー
PIN1	PIN1 ロック	ホワイト	レッド
	PIN1コード入力待ち	ホワイト	レッド

※　データ送受信が長時間無い状態

ドコモUIMカードを使う

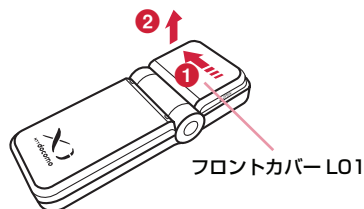
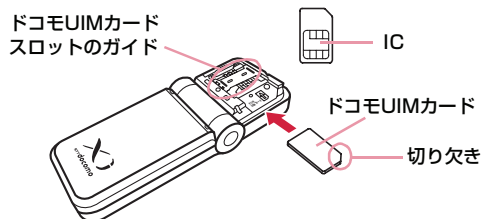
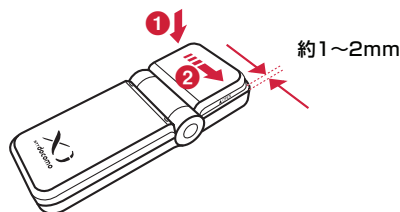
ドコモUIMカードは電話番号などお客様の情報が記録されているICカードのことで、本端末に取り付けないと、データ通信などを利用できません。ドコモUIMカードの詳しい取り扱いについては、ドコモUIMカードの取扱説明書をご覧ください。

本端末では、FOMAカードはご使用できません。FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取替えください。

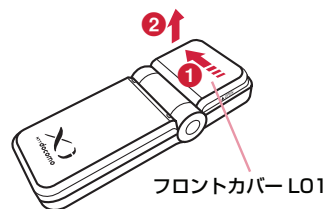
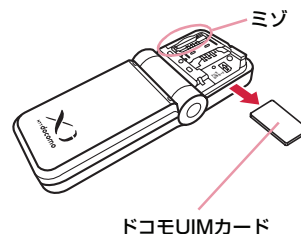
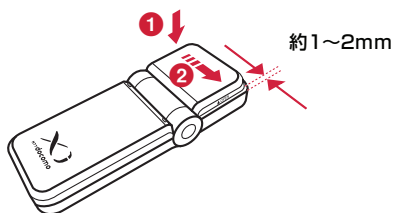
取り付けかた／取り外しかた

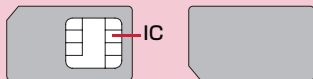
取り付けかた

ドコモUIMカードを取り付けるときは、両手で持って行ってください。

1 **フロントカバーL01を❶の方向へスライドさせ、❷の方向に持ち上げて取り外す**

2 ドコモUIMカードのIC面を下にして、矢印の方向でドコモUIMカードスロットのガイドの下に差し込む

3 フロントカバーL01を約1～2mmずらした状態で本端末の溝に合わせ、❶の方向に押し付けながら❷の方向へスライドさせ、カチッと音がするまで押し込む

取り外しかた

ドコモUIMカードを取り外すときは、両手で持って行ってください。

1 フロントカバーL01を❶の方向へスライドさせ、❷の方向に持ち上げて取り外す

2 ドコモUIMカードスロットのミゾに指先をかけて、矢印の方向にスライドさせて取り外す

3 フロントカバーL01を約1～2mmずらした状態で本端末の溝に合わせ、❶の方向に押し付けながら❷の方向へスライドさせ、カチッと音がするまで押し込む

お知らせ

- 取り外したドコモUIMカードはなくさないようにご注意ください。
- 必ずドコモUIMカードの各面を確認してください。

- ドコモUIMカードのICに触れたり、傷をつけたりしないように注意してください。
- ドコモUIMカードを逆向きに挿入すると、故障の原因となります。
- ドコモUIMカードを無理に取り付けようとしたり、取り外そうとすると、ドコモUIMカードが破損する場合があります。
- パソコンに本端末が接続されている状態で、ドコモUIMカードの取り付けまたは取り外しをしないでください。故障の原因となります。

暗証番号

ドコモUIMカードにはPIN1コードという暗証番号があり、ご契約時は［0000］に設定されています。PIN1コードは第三者による無断使用を防ぐため、本端末の電源を入れる時、ユーザーを認識するための4～8桁の暗証番号です。

お客様のドコモUIMカードがPIN1コードを確認する設定になっている場合は、そのままデータ通信をすることができません。PIN1コードを確認してから利用するか、あらかじめドコモUIMカードの設定を、PIN1コードを確認しない設定（→『L-02C取扱説明書（PDF）』P58）にしてから使用してください。

■ PIN1コードの変更

お客様のお好みで、番号を自由に変更できます。第三者による無断使用を防ぐため、お客様独自の番号に変更してください。
なお、PIN1コード入力を3回連続して失敗すると自動的にロック（PIN1 ロック）されますので、設定した番号はメモを控えるなどして、お忘れにならないようにご注意ください。

- 「PIN1コード変更」（→『L-02C取扱説明書（PDF）』P59）

■ PINロック解除コード

PINロック解除コードは、PIN1コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。ご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。なお、お客様ご自身では変更できません。PINロック解除コードの入力を10回連続して失敗すると、ドコモUIMカードがロックされます。

ご注意

- 設定するPIN1コードは「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定したPIN1コードはメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- PIN1コードは、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一PIN1 コードが他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- PIN1コードを忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類(運転免許証など)やドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
  詳しくは取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PIN ロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書(お客様控え)に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類(運転免許証など)とドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

L-02C 接続ソフトを起動すると
PIN1コード確認を表示

PIN1コードを入力

3回連続入力失敗

PINロック解除コードを入力

OK　　10回連続入力失敗

新しいPIN1コードを
設定可能

ドコモショップ窓口に
お問い合わせください。

本端末から利用できる通信

Xiデータ通信／FOMAパケット通信

送受信したデータ量に応じて通信料金がかかる通信方式です。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」など、Xiデータ通信またはFOMAパケット通信に対応した接続先を利用して、受信最大37.5Mbps、送信最大12.5Mbps（Xiエリア内一部の屋内施設では受信最大75Mbps、送信最大25Mbps）の速度でデータ通信を行うことができます。

※ 通信速度は、送受信時の技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。ベストエフォート方式による提供となり、実際の通信速度は、通信環境やネットワークの混雑状況に応じて変化します。

- ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」などを用意しております。詳しくはmopera Uホームページをご覧ください。
  http://www.mopera.net/
- Xiエリアの帯域幅により規格上の通信速度は、受信速度（帯域幅［20/15/10/5MHz］）：100/100/75/37.5Mbps、送信速度（帯域幅［20/15/10/5MHz］）：50/37.5/25/12.5Mbpsとなります。
- Xiエリア外のFOMAハイスピードエリアにおいては、受信最大7.2Mbps／送信最大5.7Mbpsの通信となります。
- Xiエリア外およびFOMAハイスピードエリア外のFOMAエリアにおいては、送受信ともに最大384kbpsの通信となります。
- アクセスポイントや電波状況によって通信速度は異なります。
- 海外でご利用の場合は、利用する海外事業者やネットワークにより通信速度が異なります。

お知らせ

- 画像を多く含むホームページの閲覧、大容量ダウンロードなど、データ量の多い通信を行うと、高額の通信料がかかりますのでご注意ください。
- ネットワークの混雑状況によって、通信が遅くなる、または接続しづらくなることがあります。また、特にご利用の多いお客さま（当日を含む直近3日間のデータ通信量が約380MB以上）は、それ以外のお客さまと比べて通信が遅くなることがあります。なお、一定時間内または1回の接続で大量のデータ通信があった場合、長時間接続した場合、一定時間内に連続で接続した場合は、その通信が中断されることがあります。
- 64Kデータ通信には対応しておりません。
- 本端末は、Remote Wakeupには対応していません。
- 本端末は、FAX通信には対応していません。

利用にあたっての留意点

■ **インターネットサービスプロバイダの利用料について**

インターネットを利用する場合は、利用するインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要になります。この利用料は、Xiサービス利用料とは別に直接インターネットサービスプロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」などが利用できます。

「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。

mopera Uのサービス内容および接続設定方法については、mopera Uのホームページをご確認ください。

http://www.mopera.net/

■ **ネットワークアクセス時のユーザー認証について**

接続先によっては、接続時にユーザー認証（IDとパスワード）が必要な場合があります。その場合は通信ソフトまたはダイヤルアップネットワークでIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のインターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容についてはそちらにお問い合わせください。

■ **通信条件**

本端末で通信を行うには、次の条件が必要になります。ただし、条件が整っていても基地局が混雑している、または電波状況が悪い場合は通信できないことがあります。

- Xiのネットワーク、FOMAのネットワーク、またはドコモのローミングサービスエリア内であること
- アクセスポイントがXiデータ通信またはFOMAパケット通信に対応していること

本端末のパソコンへの取り付け方法

初めて本端末をパソコンに接続する時は、あらかじめL-02C 接続ソフト（ドライバ含む）をインストールする必要があります。
L-02C 接続ソフトのインストールについては、下記を参照してください。

- Windowsの場合：「L-02Cを使用するための準備を行う」（→P34）
- Macintoshの場合：「L-02Cを使用するための準備を行う」（→P43）

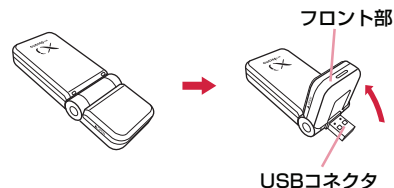
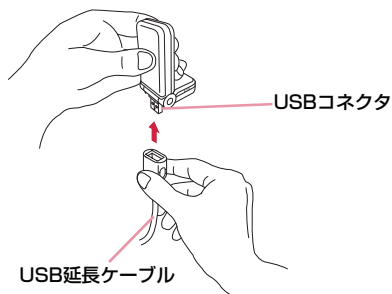
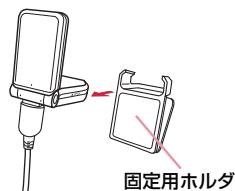
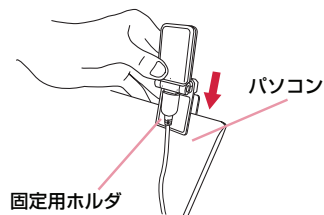
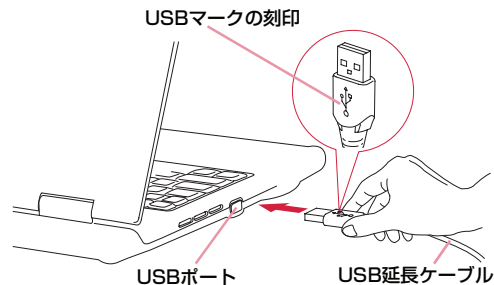
取り付けかた

1 パソコンの電源を入れる

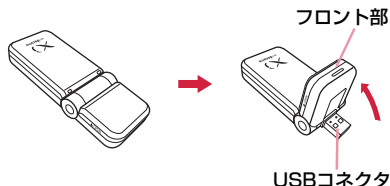
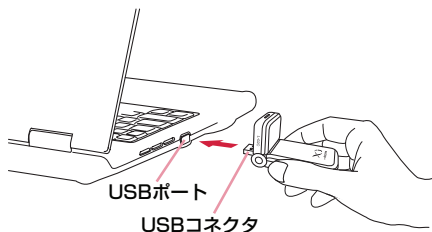
2 本端末をパソコンに接続する

■ **固定用ホルダ（試供品）とUSB延長ケーブル（試供品）を使用する場合**

- 固定用ホルダとUSB延長ケーブルを利用してパソコンの上部に取り付けて使用します。

❶ **フロント部を図のように立てる**

❷USB延長ケーブルのコネクタ部分を持って、本端末側のUSBコネクタに、矢印の方向に差し込む
※ USBコネクタの奥まで、しっかりと差し込んでください。

❸固定用ホルダを本端末に取り付ける

❹固定用ホルダをパソコンの上部に取り付ける

❺USB延長ケーブルのコネクタ部分を持って、パソコンのUSBポートに、USBマークの刻印のある面を上にして矢印の方向に差し込む

■ パソコンに直接接続する場合

- 本端末をパソコンのUSBポートに差し込んで、直接取り付けて使用します。

❶フロント部を図のように立てる

❷本端末のUSBコネクタをパソコンのUSBポートに差し込む

※ 不注意によって本端末に衝撃や力を加えると、破損または故障の原因となることがあります。

3 通信接続を開始する

- 「L-02C 接続ソフト」を使用する場合
  （→『L-02C取扱説明書（PDF）』P51）
- モバイルブロードバンドを使用する場合
  （→『L-02C取扱説明書（PDF）』P63）
- 手動設定を使用する場合
  （→『L-02C取扱説明書（PDF）』P69）

お知らせ

- 通信接続の開始時には、電源ランプがホワイト、通信状態表示ランプがブルー、マゼンタ、シアン、またはグリーンになっていることを確認してください。
- 本端末をパソコンに取り付けた時、タスクトレイに「さらに高速で実行できるデバイス」というメッセージが表示されることがありますが、そのままの状態で設定を変更することなくご使用になれます。
- 本端末をパソコンに取り付けた状態で、スリープ（スタンバイ）や休止の操作を行うと、復帰後に正常動作しなくなる場合があります。その場合には、本端末を取り外してからスリープ（スタンバイ）や休止の操作を行ってください。

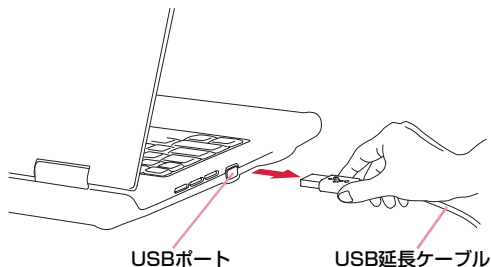
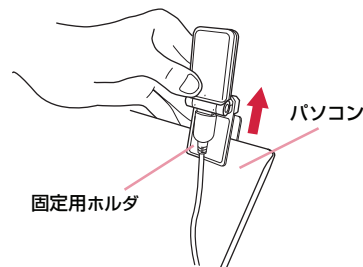
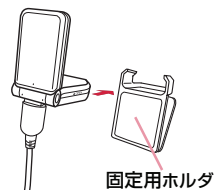
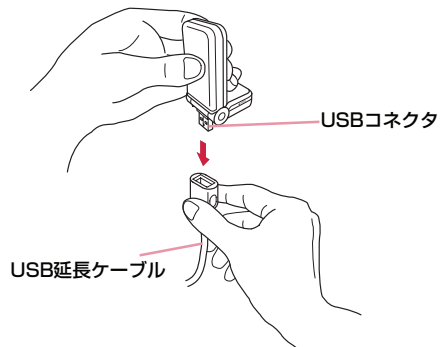
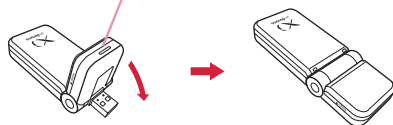
取り外しかた

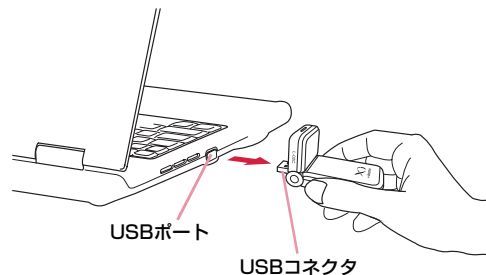
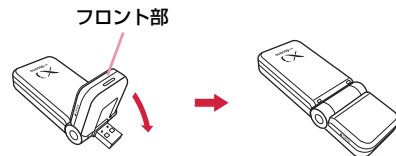
1 通信接続を終了する

L-02C 接続ソフトが起動またはL-02C 接続先（APN）設定ツールが起動している場合には、終了してください。データ通信をしている場合には、切断されていることを確認してください。

2 本端末を取り外す

■ 固定用ホルダ（試供品）とUSB延長ケーブル（試供品）を使用している場合

❶USB延長ケーブルのコネクタ部分を持って、パソコンのUSBポートから、矢印の方向に引き抜く

❷本端末を固定用ホルダと一緒にパソコンの上部から取り外す

❸本端末から固定用ホルダを取り外す

❹USB延長ケーブルのコネクタ部分を持って、本端末側のUSBコネクタから、矢印の方向に引き抜く

❺フロント部を図のようにまっすぐにする

■ パソコンに直接接続している場合

❶本端末のUSBコネクタ部分を持って、本端末をパソコンのUSBポートからまっすぐに引き抜く

❷フロント部を図のようにまっすぐにする

ご注意

- 無理に取り外そうとしたりUSBコネクタを引っ張ると、故障の原因となります。
- データ通信中に本端末をパソコンから取り外すと、データ通信が切断され、誤動作やデータ損失の原因となります。

セットアップ

セットアップについて

■L-02Cを使ってデータ通信を行うには

まず、本端末をパソコンに認識させるための「通信設定ファイル（ドライバ）」をインストールする必要があります。

L-02Cのセットアップでは、「通信設定ファイル（ドライバ）」だけでなく、データ通信用のソフトである「L-02C 接続ソフト」と「L-02C 接続先（APN）設定ツール」（Windowsのみ）も一緒にインストールできます。

L-02C 接続ソフトだけでもデータ通信を行うことができますが、必要に応じてモバイルブロードバンド（Windows 7のみ）を利用することもできます。

また、Windows OSを搭載したパソコンでは、L-02C 接続ソフトをインストール後、手動で通信設定をすることで、データ通信を行うこともできます。

■L-02C 接続ソフトのインストールについて

L-02Cは、「ゼロインストール機能」を搭載しているため、初めて本端末をパソコンに接続した際、「L-02C 接続ソフト」のインストール画面が自動で起動します。この「ゼロインストール機能」は、Windows OSを搭載したパソコンに対応しています。「ゼロインストール機能」が正常に動作しなかった場合でも、付属のCD-ROMを使って「L-02C 接続ソフト」と「L-02C 接続先（APN）設定ツール」（Windowsのみ）をインストールすることができます。

なお、Macintoshの場合、「ゼロインストール機能」には対応していませんが、本端末をパソコンに接続するとCD-ROMのアイコンが画面に表示されますので、そこからインストール作業を進めることができます。

利用形態に応じたセットアップの流れを、次のページで説明しています。

セットアップの流れ

本端末をパソコンに接続
・Windowsの場合▶P34
・Macintoshの場合▶P43

付属のCD-ROMを準備する
・Windowsの場合▶P38
・Macintoshの場合▶P46

L-02C 接続ソフト（ドライバ含む）、L-02C 接続先（APN）設定ツール（Windowsのみ）をインストール

セットアップ後の確認を行う
・Windowsの場合▶P39／・Macintoshの場合▶P46

L-02C 接続ソフトを利用する場合

L-02C 接続ソフトでの環境設定
▶『L-02C取扱説明書（PDF）』P56

L-02C 接続ソフトを使って通信接続
▶『L-02C取扱説明書（PDF）』P52

Windows 7 のモバイルブロードバンドを利用する場合

モバイルブロードバンドを使って通信接続
▶『L-02C取扱説明書（PDF）』P65

手動設定の場合

手動による通信設定
・Windowsの場合▶『L-02C取扱説明書（PDF）』P70

OSの機能を使って手動で通信接続
・Windowsの場合▶『L-02C取扱説明書（PDF）』P86

動作環境を確認する

本端末を利用するための動作環境は以下のとおりです。

項目	必要環境
パソコン本体	• PC/AT互換機、および、Macで、CD-ROMドライブが使用できること • USBポート（Universal Serial Bus Specification Rev2.0準拠） • USBハブ（モニタやキーボードなどにあるUSBポートを含む）を経由しての動作は保証いたしかねます。 • ディスプレイ解像度800×600ドット、16ビットカラー (65,536) 以上を推奨
OS※1	Windows XP SP3以降（日本語版） Windows Vista SP2以降（日本語版） Windows 7（日本語版） Mac OS X 10.5.8（32bit 日本語版）※2 Mac OS X 10.6.4（32bit 日本語版）※2
必要メモリ※3	Windows XP：256Mバイト以上 Windows Vista：512Mバイト以上 Windows 7：1Gバイト以上（32bit） Windows 7：1Gバイト以上（64bit） Mac OS X 10.5.8：512Mバイト以上 Mac OS X 10.6.4：1Gバイト以上
ハードディスク容量※3	50Mバイト以上の空き容量

※1 OS のアップグレードや追加・変更した環境での動作は保証いたしかねます。
※2 Intel社製CPUを搭載したMacのみに対応しています。
※3 必要メモリおよびハードディスクの空き容量はシステム環境によって異なることがあります。

動作環境の最新情報については、ドコモのホームページにてご確認ください。

お知らせ

- お客様の環境・機器によっては、ご使用になれない場合があります。また左記動作環境以外でのご使用によるお問い合わせおよび動作保証は、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

Windows版

L-02C 接続ソフトのインストールは、利用するパソコンに初めて本端末を接続するときのみ行います。

※以降で示す手順や画面イメージは、Windows 7の場合の例で記載しています。

お知らせ

- インストールを行う時は、OSが起動してからUSBポートに本端末を取り付けてください。
- ゼロインストール（自動）中は、付属のCD-ROMを、CDドライブに入れないでください。
- インストール中は、本端末を取り外さないでください。
- ご使用のパソコンによっては、インストールに多少時間がかかる場合があります。
- データ通信中にインストールおよびアンインストールを行わないでください。
- インストールを始める前に、起動しているアプリケーションをすべて終了させてください。ウイルスチェックソフトを含む、Windows上に常駐しているプログラムも終了させてください。
- インストールを行う場合、必ずパソコン管理者権限を持つユーザーアカウントで行ってください。それ以外のアカウントでインストールすると、エラーになります。
- パソコン管理者権限の設定操作については各パソコンメーカ、マイクロソフト社にお問い合わせください。

■ パソコンにCD/DVDの再生および書き込みソフトがインストールされている場合のご注意

一部のパソコンにインストールされているCD/DVDの再生および書き込みアプリケーションソフトのバージョンによっては、そのアプリケーションソフトが常駐※もしくは起動している間に本端末を接続しても、正常に認識されない場合があります。

その場合の対処方法は、「故障かな？と思ったら」を参照してください。→P52

※タスクトレイにアイコンが表示されている状態のソフトも含みます。

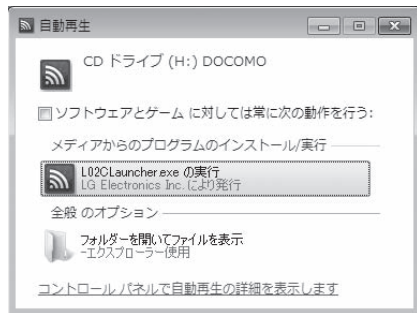
L-02Cを使用するための準備を行う

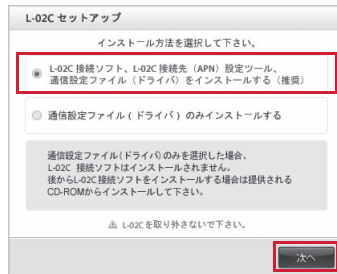
ゼロインストール（自動）でセットアップを行う

1 パソコンの電源を入れ､OSを起動する

2 本端末をパソコンに接続する

ゼロインストール機能により、L-02C 接続ソフトのセットアップ画面が自動で表示されます。

設定により「自動再生」画面が表示されることがあります。画面が表示されたら､「ソフトウェアとゲームに対しては常に次の動作を行う」をチェックし､「L02CLauncher.exeの実行」を選択してください。

- L-02C 接続ソフトのセットアップ画面が自動で表示されない場合は、付属のCD-ROMからインストールします。（→P38）

3 「L-02C 接続ソフト､L-02C 接続先（APN）設定ツール､通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする（推奨）」を選択し､［次へ］をクリックする

■ 通信設定ファイル（ドライバ）のみインストールする場合

❶「通信設定ファイル（ドライバ）のみインストールする」を選択し、［次へ］をクリックする

❷「ユーザー アカウント制御」画面で［はい］をクリックする

■Windows Vistaの場合

- 「ユーザー アカウント制御」画面で［続行］をクリックします。

■Windows XPの場合

- 「ユーザー アカウント制御」画面は表示されませんので、次の手順に進んでください。

❸「使用許諾契約」の内容を確認のうえ､「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択し、［次へ］をクリックする

❹［次へ］をクリックする

❺［OK］をクリックする

❻本端末がパソコンに認識されることを確認する

❼以降は､「インストールしたL-02C 通信設定ファイル（ドライバ）を確認する」（→P39）に進む

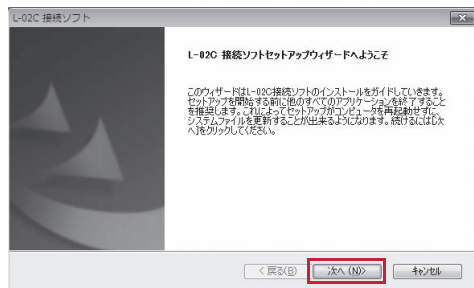
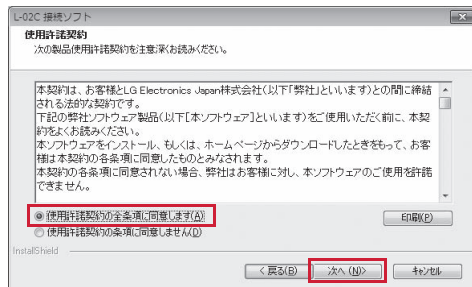
4 「ユーザー アカウント制御」画面で[はい]をクリックする

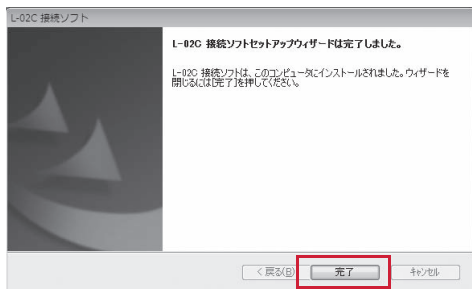
■ Windows Vistaの場合

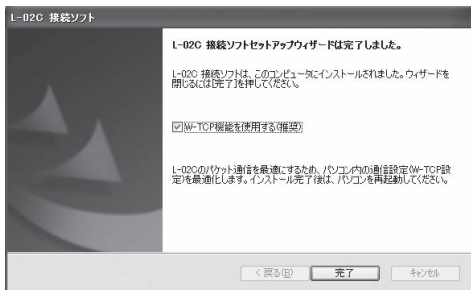
- 「ユーザー アカウント制御」画面で［続行］をクリックします。

■ Windows XPの場合

- 「ユーザー アカウント制御」画面は表示されませんので、次の手順に進んでください。

5 [次へ]をクリックする

6 「使用許諾契約」の内容を確認のうえ、「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択し、[次へ]をクリックする

インストールがはじまります。

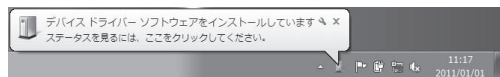
7 ［完了］をクリックする

■ Windows XPの場合

- W-TCP機能を使用する場合（推奨）は、「W-TCP機能を使用する（推奨）」にチェックが付いていることを確認して［完了］をクリックします。

続いて、L-02C 通信設定ファイル（ドライバ）のインストールが行われます。

※ご使用のパソコンによっては、次の手順まで多少時間がかかる場合があります。

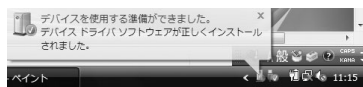
8 本端末がパソコンに認識されることを確認する

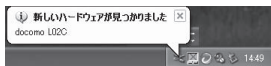
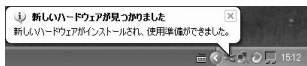
右下側のタスクトレイに「デバイスドライバー ソフトウェアをインストールしています」とメッセージが表示され、本端末を自動で認識します。

※本端末を自動で認識させるために、L-02C 接続ソフト上に「L-02C が取り外されました。」と一時的にメッセージが表示されることがあります。しばらくすると本端末を認識します。

本端末が正常に認識されると、「デバイスを使用する準備ができました」とメッセージが表示されます。

■ Windows Vistaの場合

- 右下側のタスクトレイに「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています」とメッセージが表示され、本端末を自動で認識します。

- 本端末が正常に認識されると、「デバイスを使用する準備ができました」とメッセージが表示されます。

■ Windows XPの場合

- 右下側のタスクトレイに「新しいハードウェアが見つかりました」とメッセージが表示され、本端末を自動で認識します。

- 本端末が正常に認識されると、「新しいハードウェアがインストールされ、使用準備ができました。」とメッセージが表示されます。

9 Flash Playerをインストールする

お使いのパソコンにFlash Playerがインストールされていない場合は、メッセージが表示されます。以下の手順に従って、Flash Playerのインストールを行ってください。

❶ [OK] をクリックする

❷「ユーザー アカウント制御」画面で [はい] をクリックする

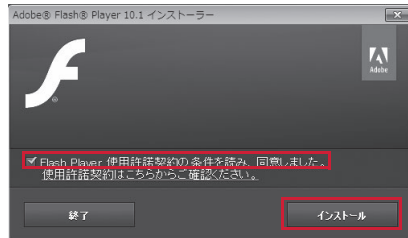
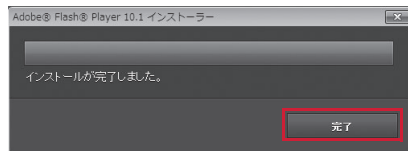
Flash Playerのインストールがはじまります。

■Windows Vistaの場合

- 「ユーザー アカウント制御」画面で [続行] をクリックします。

■Windows XPの場合

- 「ユーザー アカウント制御」画面は表示されませんので、次の手順に進んでください。

❸「使用許諾契約」の内容を確認のうえ、「使用許諾契約の条件を読み、同意しました。」をチェックし、[インストール] をクリックする

❹ [完了] をクリックする

これでインストールは完了です。
「W-TCP機能を使用する（推奨）」にチェックを付けた場合は、インストール完了後にパソコンを再起動してください。

手動（CD）でセットアップを行う

1 パソコンを起動後▶付属のCD-ROMをパソコンにセットする

設定により「自動再生」画面が表示されることがあります。画面が表示されたら、「フォルダーを開いてファイルを表示」を選択してください。

2 付属のCD-ROM内の「Windows」▶「L-02C 接続ソフト、L-02C 接続先（APN）設定ツール」▶「LGCM_02C_v1.0.0.0J.exe」を選択する

■ 通信設定ファイル（ドライバ）のみインストールする場合

❶付属のCD-ROM内の「Windows」▶「Driver」▶「docomo_L02C_ModemDriver_WHQL_Ver_1.6_All.exe」を選択する

❷「ユーザー アカウント制御」画面で［はい］をクリックする

■Windows Vistaの場合

- 「ユーザー アカウント制御」画面で［続行］をクリックします。

■Windows XPの場合

- 「ユーザー アカウント制御」画面は表示されませんので、次の手順に進んでください。

❸「使用許諾契約」の内容を確認のうえ、「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択し、［次へ］をクリックする

❹［次へ］をクリックする

❺［OK］をクリックする

❻本端末をパソコンに接続する

❼本端末がパソコンに認識されることを確認する

❽以降は、「インストールしたL-02C 通信設定ファイル（ドライバ）を確認する」（→P39）に進む

3 以降は、「ゼロインストール（自動）でセットアップを行う」の手順4以降と同様に操作する（→P35）

※ なお、手順7で［完了］をクリックした後に、本端末をパソコンに接続してください。
このとき、設定により「自動再生」画面が表示されることがあります。画面が表示されたら、「ソフトウェアとゲームに対しては常に次の動作を行う」をチェックし、「L02CLauncher.exeの実行」を選択してください。本端末がパソコンに認識されます。

セットアップ後の確認を行う

L-02C 接続ソフトを確認する

1 デスクトップ上にあるL-02C 接続ソフトのアイコン をダブルクリックする

下の画面が表示されたら、インストール後の確認は完了です。

お知らせ

- Windows 7の場合、モバイルブロードバンドの自動接続設定によっては、L-02C 接続ソフトを起動できません。モバイルブロードバンドの自動接続設定を「自動的に接続しない」に設定してください。
→『L-02C取扱説明書(PDF)』P65

インストールしたL-02C 通信設定ファイル(ドライバ)を確認する

L-02C 通信設定ファイル(ドライバ)がパソコンに設定されているかを確認します。

1 (スタート)▶「コントロールパネル」▶「システムとセキュリティ」を順にクリックする

■ Windows Vistaの場合
- (スタート)▶「コントロールパネル」▶「システムとメンテナンス」を順にクリックします。

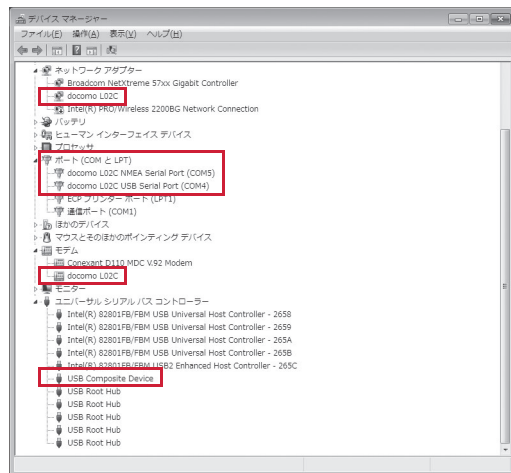
■ Windows XPの場合
- [スタート]▶「コントロールパネル」▶「パフォーマンスとメンテナンス」▶「システム」を順にクリックします。

2 「デバイス マネージャー」をクリックする

■ Windows Vistaの場合
- 「デバイスマネージャ」▶「続行」をクリックします。

■ Windows XPの場合
- 「ハードウェア」タブをクリック▶[デバイスマネージャ]をクリックします。

3 各デバイス表示をクリックし、インストールされたドライバ名を確認する

- 「ネットワーク アダプター」「ポート（COMとLPT）」「モデム」「ユニバーサル シリアル バス コントローラー」の下にドライバ名が表示されているか確認してください。

- COMポート番号はユーザーやパソコンに応じて異なる場合があります。

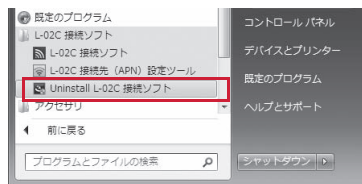
OS	デバイス名	ドライバ名
Windows 7	ネットワークアダプター	docomo L02C
	ポート（COMとLPT）	docomo L02C NMEA Serial Port docomo L02C USB Serial Port
	モデム	docomo L02C
	ユニバーサルシリアル バスコントローラー	USB Composite Device
Windows Vista	ネットワークアダプタ	docomo L02C
	ポート（COMとLPT）	docomo L02C NMEA Serial Port docomo L02C USB Serial Port
	モデム	docomo L02C
	ユニバーサルシリアル バスコントローラ	USB 複合デバイス
Windows XP	ネットワークアダプタ	docomo L02C
	ポート（COMとLPT）	docomo L02C NMEA Serial Port docomo L02C USB Serial Port
	モデム	docomo L02C
	USB(Universal Serial Bus)コントローラ	USB 複合デバイス

お知らせ

- 本端末をパソコンのUSBポートに取り付けた後、本端末が認識されない場合は、他のUSBポートに取り付けてご確認ください。パソコンによっては特定のUSB ポートでは本端末が認識されない場合もあります。
- L-02C 接続ソフトを使ってデータ通信を行う場合、L-02C 接続ソフトでの環境設定を行ってください。→『L-02C取扱説明書（PDF)』P56
- Windows 7のモバイルブロードバンドでデータ通信を行う場合、モバイルブロードバンドで設定を行ってください。→『L-02C取扱説明書（PDF)』P66
- L-02C 接続ソフトおよびWindows 7のモバイルブロードバンドのどちらも使わずにデータ通信を行う場合は、手動で設定してください。→『L-02C取扱説明書（PDF)』P70

L-02C 接続ソフト（ドライバ含む）をアンインストールする

- アンインストールする前に本端末をパソコンから取り外してください。
- アンインストールを行う場合、必ず管理者権限を持つユーザーアカウントで行ってください。

1 **(スタート)▶「すべてのプログラム」▶「L-02C 接続ソフト」▶「Uninstall L-02C 接続ソフト」を順にクリックする**

■ Windows Vistaの場合

- (スタート)▶「すべてのプログラム」▶「L-02C 接続ソフト」▶「Uninstall L-02C 接続ソフト」を順にクリックします。

■ Windows XPの場合

- ［スタート］▶「すべてのプログラム」▶「L-02C 接続ソフト」▶「Uninstall L-02C 接続ソフト」を順にクリックします。

2 「ユーザー アカウント制御」画面で[はい]をクリックする

［いいえ］をクリックすると、アンインストールが中止されます。

■ Windows Vistaの場合

- 「ユーザー アカウント制御」画面で［続行］をクリックします。

■ Windows XPの場合

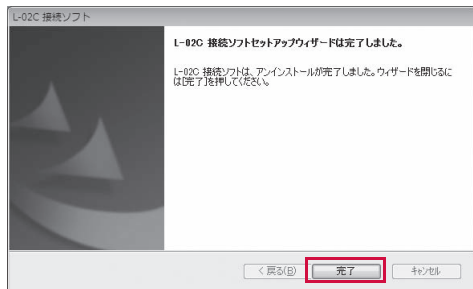
- 「ユーザー アカウント制御」画面は表示されませんので、次の手順に進んでください。

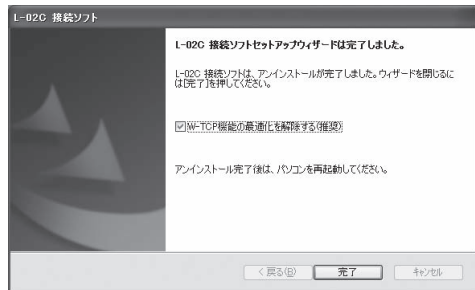
3 「ファイル削除の確認」画面で[OK]をクリックする

4 「ユーザーデータ削除の確認」画面でユーザーデータを削除する場合は[はい]をクリックする

[いいえ]をクリックすると、ユーザーデータは削除されません。

- [はい]をクリックした場合も、APN情報、接続方式（IPv4、IPv4/v6、IPv6）は削除されません。

5 ［完了］をクリックする

■ Windows XPの場合

- 「W-TCP機能の最適化を解除する（推奨）」にチェックが付いていることを確認して［完了］をクリックします。

これでアンインストールは完了です。

- アンインストール完了後は、パソコンを再起動してください。

Macintosh版

L-02C 接続ソフトのインストールは、利用するパソコンに初めて本端末を接続するときのみ行います。

※以降で示す画面イメージは「Mac OS X 10.6」の場合の例です。「Mac OS X 10.5」の場合には画面イメージなどが異なります。

お知らせ

- インストールを行う時は、OSを起動してからUSBポートに本端末を取り付けてください。
- 本端末からインストール実行中は、付属のCD-ROMを、CDドライブに入れないでください。
- インストール中は、本端末を取り外さないでください。
- インストールを始める前に、起動しているアプリケーションをすべて終了させてください。ウイルスチェックソフトを含む、Mac OS上に常駐しているプログラムも終了させてください。
- インストールを行う場合、必ず管理者権限を持つユーザーアカウントで行ってください。

L-02Cを使用するための準備を行う

本端末でセットアップを行う

1 パソコンの電源を入れ、OSを起動する

2 本端末をパソコンに接続する

デスクトップにCD-ROMのアイコンが表示されます。

3 CD-ROMのアイコンをダブルクリックする

4 「L-02C 接続ソフト インストーラー.pkg」をダブルクリックする

5 [続ける]をクリックする

6 [続ける]をクリックする

7 「使用許諾契約」の内容を確認のうえ、契約内容に同意する場合は、[同意する]をクリックする

8 インストール先を選択し、[続ける]をクリックする

9 [インストール]をクリックする

10 管理者パスワードを入力▶[OK]をクリックする

11 [インストールを続ける]をクリックする

12 [再起動]をクリックする

パソコンが再起動します。これでインストールは完了です。一旦、本端末をパソコンから取り外してください。

CD-ROMでセットアップを行う

1 パソコンを起動▶付属のCD-ROMをパソコンにセットする

デスクトップにCD-ROMのアイコンが表示されます。

2 CD-ROMのアイコン▶「Mac」▶「L-02C 接続ソフト」を順にダブルクリックする

3 以降は、「本端末でセットアップを行う」の手順4以降と同様に操作する(→P43)

※ なお、手順12でパソコンが再起動した後に、本端末をパソコンに接続してください。

セットアップ後の確認を行う

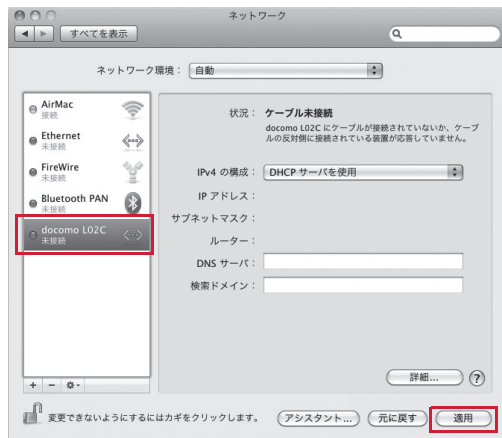
L-02C 接続ソフトを確認する

1 本端末をパソコンに接続する

2 デスクトップに表示されたCDイメージ(DOCOMOアイコン)をごみ箱にドラッグする

本端末がモデムとして認識されます。

3 [“ネットワーク”環境設定]をクリックする

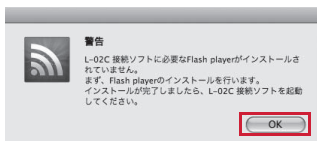
4 「docomo L02C」を選択して、[適用]をクリックする

5 「ネットワーク」画面を閉じる

6 Finderを起動 ▶「アプリケーション」▶「L-02C 接続ソフト.app」を順にダブルクリックする

下の画面が表示されたら、インストール後の確認は完了です。

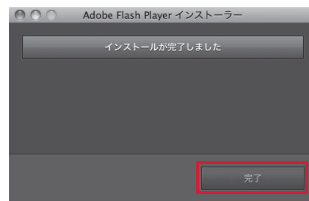
Flash Playerのインストール

お使いのパソコンにFlash Playerがインストールされていない場合は、L-02C 接続ソフトの初回起動時にメッセージが表示されます。以下の手順に従って、Flash Playerのインストールを行ってください。

❶Finderを起動 ▶「アプリケーション」▶「L-02C 接続ソフト.app」を順にダブルクリックする

❷［OK］をクリックする

❸「使用許諾契約」の内容を確認のうえ、「使用許諾契約の条件を読み、同意しました。」をチェックし、［インストール］をクリックする

❹管理者パスワードを入力し、［OK］をクリックする

❺［完了］をクリックする

これでインストールは完了です。

お知らせ

- L-02C 接続ソフトを使ってデータ通信を行う場合、L-02C 接続ソフトでの環境設定を行ってください。→『L-02C取扱説明書（PDF）』P56

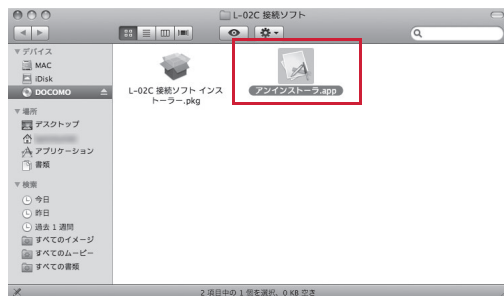
L-02C 接続ソフト（ドライバ含む）をアンインストールする

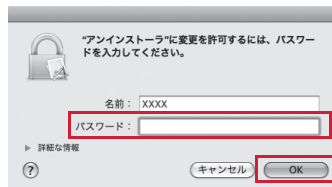
- アンインストールする前に本端末をパソコンから取り外してください。
- アンインストールを行う場合、必ず管理者権限を持つユーザーアカウントで行ってください。

1 付属のCD-ROMをパソコンにセットする

デスクトップにCD-ROMのアイコンが表示されます。

2 CD-ROMのアイコン▶「Mac」▶「L-02C 接続ソフト」を順にダブルクリックする

3 「アンインストーラ.app」をダブルクリックする

4 [アンインストール]をクリックする

5 管理者パスワードを入力▶[OK]をクリックする

6 再起動する前に、本端末がUSBポートに接続されていないことを確認する

7 [再起動]をクリックする

パソコンが再起動します。これでアンインストールは完了です。

付録／困ったときには

故障かな？と思ったら

まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。（ソフトウェア更新⇒P57参照）
気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 本端末が認識されない

症　状	チェックする箇所
本端末が 認識されない	USBポートに本端末をもう一度奥までしっかりと差し込んでください。
	L-02C 通信設定ファイル（ドライバ）がインストールされ、正常に動作しているかを確認してください。→P33、P43
	本端末をパソコンに接続したまま起動、または、再起動を行った場合や、パケット通信中に、スタンバイ（スリープ）／休止状態から復帰した後、本端末が正しく認識されない場合があります。この場合は本端末をいったん取り外し、パソコンの再起動を行った後、再度本端末をパソコンに取り付けてください。 デバイスマネージャ上で、本端末のデバイスに、「！」が付いている場合には、いったん本端末のドライバを削除し、再度ドライバのみインストールしてください。
	PINロック解除コードを10回連続して失敗したドコモUIMカードは使用できません。ドコモショップ窓口までお問い合わせください。
本端末が 認識されない	**■パソコンに CD/DVD の再生および書き込みソフトがインストールされている場合のご注意** 一部のパソコンにインストールされているCD/DVDの再生および書き込みアプリケーションソフトのバージョンによっては、そのアプリケーションソフトが常駐※もしくは起動している間に本端末を接続しても、正常に認識されない場合があります。 その場合は、下記のいずれかの方法をお試しください。 **■起動中のアプリケーションソフトを終了後、認識させる方法** ❶本端末をパソコンから取り外す ❷CD/DVD再生および書き込みアプリケーションソフトの実行を終了させる ❸本端末をパソコンに接続する **■ （DOCOMO）アイコンから認識させる方法** ●Windows 7の場合 ・ （スタート）▶「コンピューター」の （DOCOMO）アイコンをダブルクリックします。 ●Windows Vistaの場合 ・ （スタート）▶「コンピュータ」の （DOCOMO）アイコンをダブルクリックします。 ●Windows XPの場合 ・[スタート] ▶「マイコンピュータ」の （DOCOMO）アイコンをダブルクリックします。 ※タスクトレイにアイコンが表示されている状態のソフトも含みます。

■ 通信時のトラブル

症　状	チェックする箇所
通信できない	サービスエリア内で電波が届いていることを確認してください。
	ドコモUIMカード設定が「PIN1 ロック解除」になっているか確認してください。→『L-02C取扱説明書(PDF)』P58 「PIN1 ロック」に設定されている場合、L-02C 接続ソフトを実行して、PIN1コードを入力してください。→『L-02C取扱説明書（PDF)』P59
	本端末設定と接続先（APN）登録を確認してください。
	L-02Cを使用して手動接続できなくなった場合には、ダイヤルアップ接続のプロパティを開き、「接続の方法」にて、「docomo L02C」のみにチェックが付いているか確認してください。 （パソコン内蔵モデムや、その他のモデムにチェックが付いている場合には、正しくパケット接続できません）
	インターネット自動接続設定を「On」に設定した場合でも、パソコンやNWの状態によって、自動接続できない場合があります。その場合には、本端末をいったん取り外し、再度パソコンに取り付けてください。
	本端末を使用してインターネット接続している時には、有線／無線LANや、他の通信機器は切断されていることを、ご確認ください。

■ ATコマンドに関するトラブル

症　状	チェックする箇所
ATコマンドを入力したら「ERROR」が表示される	正しいATコマンドを入力しているか確認してください。
	本端末以外の機器を選択していないかターミナルソフトのプロパティを確認してください。
ATコマンドを入力しても「OK」が表示されない	L-02C 通信設定ファイル（ドライバ）が正しく機能しているか確認してください。
	ATまたはatで始まるコマンドになっているか確認してください。

■ ゼロインストールに失敗した

症　状	チェックする箇所
新規ハードウエアの検出画面が表示された	「L-02Cセットアップ」画面が表示されず、ドライバの入力を求める画面になった場合は、いったんキャンセルを行い、本端末をパソコンのUSBポートから抜いてから、再度USBポートに取り付けてください。 ※なお、パソコンの設定の影響などにより、インストールに失敗する場合には、付属のCD-ROMからインストールを行ってください。→P38
	OS起動中にゼロインストールを行わないでください。パソコンによっては、起動に数分かかる場合があります。必ずパソコンの動作が落ち着いてからインストールを行ってください。

■ その他トラブル

症　状	チェックする箇所
急に動作しなくなった	本端末にドコモUIMカードが正しく挿入されているか確認してください。→P19
	周辺機器や他のソフトウェアをインストールしたことなどによりパソコンの環境が変わった可能性があります。お使いの周辺機器、またはソフトウェアの製造販売元、メーカにご確認ください。
L-02C 通信設定ファイル（ドライバ）を設定した後、本端末をパソコンのUSBポートに接続しても、ハードウェアを検出しない	次のことをご確認ください。 • お使いのパソコンやOSの状態は最新の状態になっていますか？ （必要に応じて、OSやメーカからの修正プログラムを適用してください。） • 本端末が認識されなかったUSBポートに、その他のUSBデバイスを取り付けた場合、正常に認識されますか？ • 本端末を別のパソコンに取り付けた場合、正常に動作しますか？ • パソコンを初期状態に戻した場合に、本端末は正常に動作しますか？ ※なお、OSやパソコンについての詳細は、マイクロソフト社やパソコンメーカ各社にお問い合わせください。
急にインターネットの速度が遅くなる	本端末をパソコンと直接取り付けている場合には、付属の「USB延長ケーブル（試供品）」を使用して、パソコンから離した状態で、ご使用ください。
	LTE/W-CDMA/HSDPA/HSUPA/GPRS のサービス環境が不安定な地域では速度が遅くなることがあります。他の場所に移動して再度接続してください。
リアカバーL20が外れた	リア部の溝にリアカバー L20を合わせてスライドさせ、カチッと音がするまで押し込んでください。→P18

こんな表示が出たら

エラーメッセージ	説　明
圏外	圏外または電波の届かない所にあるため、操作ができません。
使用可能ネットワークがありません。ネットワークを検索しますか。	設定されたネットワークが圏外または電波の届かない所にあるとネットワークのエラーが発生することがあります。再度、ネットワークの設定を行ってください。
L-02C リセットに失敗しました。	本端末のリセットに失敗しました。本端末がパソコンに正しく取り付けられているか、パソコンに認識されているか確認してください。
接続中には設定変更できません。設定のためには接続を解除してください。	データ通信接続中には、設定の操作ができません。データ接続が終わった後、再度設定を行ってください。
変更するPIN1コードと確認用のPIN1コードが異なっています。再入力してください	2つの新しいPIN1コードが一致していません。新規PIN1コードと確認用PIN1コードが異なります。正しい新規PIN1コードを入力してください。
ドコモUIMカードが挿入されているか確認してください。	パソコンに取り付ける前に、必ずドコモUIMカードを本端末に挿入して、使用してください。
L-02Cが取り外されました。	本端末の使用中には本端末を抜かないでください。
PIN1コードの入力を3回失敗しました。PINロック解除コードを入力してください。	PIN1コードを連続して3回失敗したため、使用できる機能が制限されました。PINロック解除コードを入力して解除してください。
PIN1コードが違います。PIN1コードを再入力してください。（リトライ○/3）	入力したPIN1コードが間違っています。正しいPIN1コードを再入力してください。
PIN1コードは、4～8桁の数字です	PIN1コードの有効桁は4～8桁です。
PIN1コードをPIN1ロックに設定してください。	PIN1コードの変更のためには、PIN1 ロック設定が必要です。PIN1 ロック解除状態からPIN1ロック状態に変更してください。
PIN1ロック解除コードが違います。再入力してください。（リトライ○/10）	入力したPINロック解除コードが間違っています。正しいPINロック解除コードを再入力してください。
PINロック解除コードの入力を10回間違えたため、L-02Cがロックされました。ドコモの窓口までお問い合わせください。	PINロック解除コードを10回連続して失敗したドコモUIMカードは使用できません。ドコモショップ窓口までお問い合わせください。

保証とアフターサービス

保証について

- 本端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

アフターサービスについて

調子が悪い場合は

- 修理を依頼される前にこの取扱説明書の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください。それでも調子が良くないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

- ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。
  なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモ指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■ 以下の場合は、修理できないことがあります。

- 故障取扱窓口にて水濡れと判断した場合（例：水濡れシールが反応している場合）
- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（コネクタなどの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※　修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後4年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災、けが、故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
    以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    ・接着剤などにより本端末に装飾を施す
    ・外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - 改造が原因による故障、損傷の場合は保証期間内であっても有料修理となります。
- 本端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。銘版シールには技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- 本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

ソフトウェア更新について

インターネット上のダウンロードサイトから本端末の修正ファイルをダウンロードし、ソフトウェア更新を行います。ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページの「お知らせ」でご案内させていただきます。

お知らせ

- ソフトウェア更新中は接続しているパソコンから本端末を取り外さないでください。
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかる場合があります。
- ソフトウェア更新に失敗するなどして一切の操作ができなくなった場合は、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。

主な仕様

■ 対応OS

Windows XP Home Edition 日本語版（Service Pack 3以降）
Windows XP Professional 日本語版（Service Pack 3以降）
Windows Vista 32bit 日本語版（Service Pack 2以降）
Windows Vista 64bit 日本語版（Service Pack 2以降）
Windows 7 32bit 日本語版
Windows 7 64bit 日本語版
Mac OS X 10.5.8（32bit 日本語版）
Mac OS X 10.6.4（32bit 日本語版）

■ 通信速度

受信最大37.5Mbps
送信最大12.5Mbps
（Xi エリア内一部の屋内施設では受信最大75Mbps、送信最大25Mbps）

※ 通信速度は、送受信時の技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。ベストエフォート方式による提供となり、実際の通信速度は、通信環境やネットワークの混雑状況に応じて変化します。

※ Xiエリアの帯域幅により規格上の通信速度は、受信速度（帯域幅［20/15/10/5MHz］）：100/100/75/37.5Mbps、送信速度（帯域幅［20/15/10/5MHz］）：50/37.5/25/12.5Mbpsとなります。

※ Xi対応エリアの詳細についてはドコモのホームページをご確認ください。

※ Xiエリア外のFOMAハイスピードエリアにおいては、受信最大7.2Mbps／送信最大5.7Mbpsの通信となります。

※ FOMAハイスピードエリア内であっても、場所によっては送受信ともに最大384kbpsの通信となる場合があります。

※ Xiエリア外およびFOMAハイスピードエリア外のFOMAエリアにおいては、送受信ともに最大384kbpsの通信となります。

■ 環境条件

動作時温度：5℃～35℃
動作時湿度：45%～85%

■ 電源

電源電圧

DC5V（パソコンにより給電）

消費電流※1

通信時最大消費電流

LTE：約680mA以下（5/10MHz）※2

3G：約520mA 以下

GPRS：約570mA 以下

通信時平均消費電流

LTE：約380mA以下（5/10MHz）※3

3G：約310mA 以下

GPRS：約220mA 以下

待ち受け時平均消費電流

LTE：約110mA以下

3G：約100mA 以下

GPRS：約100mA 以下

※1 使用状況により、消費電流は変動します。

※2 15/20MHzでは約740mA以下

※3 15/20MHzでは約420mA以下

■ 形状

USB接続タイプ

■ サイズ

高さ：約90mm

幅　：約35mm

厚さ：約12.9mm

■ 質量

約44g

■ JATE認証番号

AD10-0278001

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省へお問い合わせください。

European Union Directives Conformance Statement

CE

Hereby, LG Electronics Inc. declares that this product is in compliance with:

- The essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC
- All other relevant EU Directives

CE0168 The above gives an example of a typical Product Approval Number.

FCC Regulations

Statement

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Change or Modifications that are not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.

Class B Compliance

This device and its accessories comply with part15 of FCC rules.
Operation is subject to the following two conditions:

- This device & its accessories may not cause harmful interference.
- This device & its accessories must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Body-worn Operation

This device has been tested for typical body-worn operations with the distance of 0.19inches (0.5cm) from the user's body.
To comply with FCC RF exposure requirements, a minimum separation distance of 0.19inches(0.5cm) must be maintained from the user's body.

Consumer Information on SAR (Specific Absorption Rate)

THIS DEVICE MEETS THE GOVERNMENT'S REQUIREMENTS FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.
Your wireless device is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radiofrequency (RF) energy set by the Federal Communications 'Commission of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.

The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health. The exposure standard for wireless devices employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.
The SAR limit set by the FCC is 1.6W/kg.

※ Tests for SAR are conducted using standard operating positions specified by the FCC with the device transmitting at its highest certified power level, the actual SAR level of the device while operating can be well below the maximum value. This is because the device is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the power output.

Before a device is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the limit established by the government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed in positions and locations (e.g., worn on the body) as required by the FCC for each model.

The highest SAR value for this device when worn on the body is 0.77W/kg.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this device with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this device is on file with the FCC and can be found under the Display Gant section of http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ after searching on FCC ID BEJL02C. Additional information about Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications Industry Association (CTIA) web-site at http://www.ctia.org/.

知的財産権

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用してインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などをすることはできません。

商標について

- 「FOMA」「ｉモード」「ｉアプリ」「mopera U」「WORLD WING」「Xi」「Xi／クロッシィ」および「Xi」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7(Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate)の略です。
  - Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
- Windows 7、Vista、XPのように併記する場合があります。

- Apple、Appleロゴ、Mac、Mac OS、Macintoshは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- Adobe、Adobe Flash Player、およびAdobe Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

索　引

ア

カ

サ

タ

ハ

ヤ

ラ

英数字

INSTRUCTION MANUAL

for Connection Guide

Data Communication Device L-02C

DOCOMO LTE • W-CDMA • GPRS System

Thank You for Purchasing the "Data Communication Device L-02C"

Before or while using the L-02C, be sure to thoroughly read this manual and the individual manual for other operation devices to ensure its correct use. For further information, contact the "docomo Information Center" on the back of this manual. The L-02C is designed to be your close partner. Treat it carefully at all times to ensure long-term performance.

Before Using this Terminal

- Because this terminal uses radio waves, it may not function in locations where it is difficult for radio waves to penetrate, such as tunnels, underground passages, Xi service area and some buildings in areas where radio wave signals are weak or out of the service area. Even when you are on a higher floor of a tall building or condominium and nothing blocks your view outside, this terminal may not be able to receive or transmit signals. Also communication may be interrupted even when the Antenna Indication Lamp on this terminal lights indicating a strong signal reception with 3 antenna indication bar.
- Use this terminal in ways that do not disturb others in public places, crowded locations, or quiet locations.
- This terminal communicates via radio waves by converting voices into digital signals. If you move into an area where signal reception is poor, the digital signals may not be accurately decoded and what you hear may differ slightly from what was actually said.
- DOCOMO is not responsible for any economic losses incurred through lost communication opportunities caused by external factors such as malfunction or electrical outage.
- This terminal can be operated in Xi area, FOMA Plus-Areas and FOMA HIGH-SPEED Areas.
- This terminal can be used only via Xi network, FOMA network provided by DOCOMO and DOCOMO's roaming area.
- This terminal does not support i-mode functions (i-mode mail, connection to i-mode sites (program) or i-αppli, etc.)

For First-Time Users of this Terminal

If this is your first time to use this terminal, read the manual in the following order to learn basic operations.

The latest information of this manual can be downloaded from the DOCOMO website.

■ The URL of PDF for INSTRUCTION MANUAL
http://www.nttdocomo.co.jp/english/support/trouble/manual/download/index.html

※ The URL and the information contained in the manual are subject to change without prior notice.

How to Read/Refer to this Manual

Contents

L-02C Manual is composed of "L-02C INSTRUCTION MANUAL～Connection Guide～" (this manual) and "L-02C INSTRUCTION MANUAL (recorded in CD-ROM)".

■ "L-02C INSTRUCTION MANUAL～Connection Guide～" (this manual)
The following contents such as connection to computer, troubleshooting, specifications of L-02C are described.

- Contents/Precautions
- Before Using this Terminal
- Setting Up
- Appendix/Troubleshooting

■ "L-02C INSTRUCTION MANUAL (recorded CD-ROM)"
Besides the above contents described in "L-02C INSTRUCTION MANUAL～Connection Guide～", the contents of configuring communication through special application are also written.
This manual is supplied with PDF. To view this manual, Adobe Reader (Version 6.0 or later is recommended) is necessary.

- L-02C Connection Software
- Mobile Broadband
- Configuring Network Manually
- Overseas Use

How to Refer to this Manual

Use the following methods to search functions and services.

- Please understand that in "L-02C Manual", "this terminal" refers to "L-02C".
- Note that in "L-02C INSTRUCTION MANUAL", "PC" refers to both "Windows PC" and "Mac".
- Operation procedures and images may differ depending on environment.
- Reprinting all or parts of this manual is prohibited.
- Information contained in this manual is subject to change without prior notice.

Describes how to search in this manual through an example of installing L-02C connection software on Macintosh (including a driver).

※：The above page is an example.

※：Screen images and illustrations contained in this manual are for reference only. They may differ from the real product.

Contents

Features of the L-02C

"Xi" is a service of DOCOMO supported by LTE (Long Term Evolution) which is the international communication standard. FOMA (Freedom Of Mobile multimedia Access) is the name of a service provided by DOCOMO based on the W-CDMA system, which is certified as one of the global standards of 3rd generation mobile communication systems (IMT-2000).

■ Supported Xi data communication

This is a super high speed data communication of up to 37.5Mbps for receiving data and up to 12.5Mbps for sending data (Part of the indoor facilities within Xi area can reach the speed of up to 75Mbps for receiving data and up to 25Mbps for sending data). You can enjoy the broadband with the speed as fast as optical LAN and the quick access within short time.

- The maximum communication speed is calculated based on theoretical standard, not the real speed. It is provided by Best effort system. The real communication speed changes according to the communication environment and network condition.
- The FOMA area which is out of Xi area is also available.
- Refer to DOCOMO website for detailed areas support Xi.

■ Correspondence with the FOMA HIGH-SPEED Area

You can enjoy high speed communication (Best effort system) at a maximum of 7.2Mbps for receiving and 5.7Mbps for sending.

- Communication speed is theoretical values when sending and receiving data which does not show the actual ones. The actual communication speed depends on communication environment and network congestion.
- For details of areas supporting a maximum of 5.7Mbps for sending, view DOCOMO website.
- Sending and receiving data may become 384kbps even in the FOMA HIGH-SPEED area.
- Sending and receiving data become 384kbps in FOMA area out of FOMA HIGH-SPEED area.

■ International Roaming Service

Data communications from a PC are available through using 3G network or GPRS network in foreign countries. ▶"L-02C INSTRUCTION MANUAL (PDF)" P90

※ "WORLD WING" is usually applied along with the contract of this terminal. Please contact a docomo shop or a docomo Information Center to confirm the details.

Safety Precautions (ALWAYS FOLLOW THESE PRECAUTIONS)

■ Before using this terminal, read these "Safety Precautions" carefully so that you can use it properly. After reading the safety precautions, keep this manual in a safe place for later reference.

■ These precautions are intended to protect you and others around you. Read and follow them carefully to avoid injury, damage to the product or damage to property.

■ The signs below indicate the levels of danger or damage that may occur if the particular precautions are not observed .

⚠ DANGER	This sign indicates that incorrect handling has a high possibility of causing death or serious injury.
⚠ WARNING	This sign indicates that incorrect handling poses a risk of causing death or serious injury.
⚠ CAUTION	This sign indicates that incorrect handling poses a risk of causing slight injury or damage to the product or property.

■ The following symbols indicate special warnings regarding product usage.

Don't	Denotes things not to do (prohibition).
Not disassembly	Denotes not to disassemble.
Not liquids	Denotes not to use where it could get wet.

Do	Denotes mandatory instructions (matters that must be complied with).

■ "Safety Precautions" are explained in the following 4 sections.

General Precautions for this Terminal and UIM

⚠ DANGER

Do not use or leave this terminal and UIM in places with a high temperature such as in cars under the blazing sun.
Fire, burns, or injury may result.

Do not put this terminal or UIM in heating appliances such as microwaves or high pressure containers.
Fire, burns, injury, or electric shock may result.

Do not disassemble or remodel this terminal and its accessories.
Fire, burns, injury, or electric shock may result.

Do not get this terminal and its accessories wet with water, drinking water, pet urine, etc.
Fire, burns, injury, or electric shock may result.

⚠ WARNING

Do not subject this terminal and its accessories to severe shocks, or throw them.
Fire, burns, injury, or electric shock may result.

Keep conductive foreign objects (metal, pencil lead, etc.) away from the USB connector. Do not insert such objects inside this terminal.
Fire, burns, injury, or electric shock may result.

Do not cover or wrap this terminal or its accessories with bedding, etc. while using.
Fire or burns may result.

Make sure to turn off the computer which is connected with this terminal before you go near a flammable gas such as gasoline fumes.
Catching fire may result.

CAUTION

Do not place this terminal or UIM on unstable locations such as wobbly tables or slanted locations.
This terminal or UIM may fall, resulting in injury.

Do not store this terminal or UIM in humid or dusty places, or in hot areas.
Fire, burns, or electric shock may result.

If children use this terminal or UIM, a guardian should explain the precautions and correct operations. The guardian should also make sure that the instructions are followed during use.
Injury may result.

Keep out of reach of babies and infants.
Accidental swallowing or injury may result.

Precautions for this Terminal

WARNING

Do not get liquids such as water or foreign objects such as metal pieces or flammable materials into the UIM slot of this terminal.
Fire, burns, injury, or electric shock may result.

Turn off this terminal in places where use is prohibited such as airplanes or hospitals.
Electronic devices or electronic medical devices may be adversely affected. Follow the instructions when using inside medical facilities.

If you wear any implanted electronic medical devices, contact the manufacturer or dealer of the electronic medical device to ask about the effect from radio waves.
Electronic medical devices may be adversely affected.

Remove this terminal from USB port in places near high-precision electronic devices or devices using weak electronic signals.

Electronic devices may be adversely affected by reasons such as malfunction.

※ Electronic devices that may be affected
Hearing aids, implanted cardiac pacemakers, implanted defibrillators, other medical electronic devices, fire alarms, automatic doors and other automatically controlled devices.
If you are using an implanted cardiac pace maker, implanted defibrillator or any other electronic medical device, consult the manufacturer or retailer of the device for advice regarding possible effects from radio waves.

⚠ CAUTION

Do not use the broken terminal.

Fire, burns, injury, or electric shock may result.

If you use this terminal in a car, contact the car manufacturer or dealer to ask about the effect from radio waves.

Depending on the type of a car, in-car electronic devices could be adversely affected. In this case, stop using this terminal immediately.

Itching, rash or eczema may be caused depending on your physical conditions or predisposition.

If an abnormality occurs, stop using this terminal immediately, and then seek medical attention.

For the material of each part →P80 "Material List"

Be careful not to get your finger caught in the parts when you close or open this terminal.

Injury or other accidents may result.

Precautions for the UIM

CAUTION

Be careful not to touch the edge of UIM when removing it.

Injury may result.

Notes on Using near Electronic Medical Equipment

■The description below meets "Guideline on the Use of Radio-communication Equipment such as Cellular Telephones - Safeguards for Electronic Medical Equipment" by the Electromagnetic Compatibility Conference.

WARNING

Be sure to adhere to the following regulations inside medical facilities.

- Keep this terminal out of operating rooms, intensive care units (ICUs) or coronary care units (CCUs).
- Turn off the PC in hospital wards.
- Turn off the PC in hospital lobbies and corridors if electrical medical devices could be nearby.
- If the medical facility has specific zones where use or possession of mobile terminals is prohibited, follow those regulations.

Turn off the PC in crowded trains or other public places where implanted cardiac pacemaker or defibrillator wearers could be nearby.

Operation of an implanted cardiac pacemaker or implanted defibrillator may be adversely affected by radio waves.

If you use an implanted cardiac pacemaker or implanted defibrillator, use the mobile terminal 22cm or more away from the implanted cardiac pacemaker or implanted defibrillator.

Operation of an implanted cardiac pacemaker or implanted defibrillator may be adversely affected by radio waves.

Patients using electronic medical equipment other than implanted cardiac pacemakers or implanted defibrillators (using outside medical facilities for treatment at home, etc.) should check the influence of radio waves upon the equipment by consulting the manufacturer.

Operations of electronic medical equipment may be adversely affected by radio waves.

Material List

Part	Material/Surface treatment
Exterior case (Front part)	PC LUPOY SC1004A (KPA1)/ SF CLEAR (Aphotic 100%)
Exterior case (Back part: side, back)	PC LUPOY SC1004A (KPA1)/ SF CLEAR (Aphotic 100%)
Back Cover	PC LUPOY SC1004A (KPA1)/ SF CLEAR (Aphotic 100%)
Front Cover	PC LUPOY SC1004A (EM59P)/ SSCP 160 NCB (Euphotic 8 : Aphotic 2)
Exterior case (Back part: Surface)	PC LUPOY SC1004A (EM59P)/ SSCP 160 NCB (Euphotic 8 : Aphotic 2)
Stopper	URETHANE
PWR Lamp	ILD-7550/Diffusion PC (Milky)
Communication Status Lamp	ILD-7550/Diffusion PC (Milky)
USB connector bracket	LG Chemistry, SC2302 (KA02), PC+GF30%/SF CLEAR (Aphotic 100%)

Handling and Care

General Usage Guidelines

■**Keep this terminal away from water.**

This terminal and UIM are not waterproof. Do not use the terminal in places with high humidity such as a bath or where rain may get it wet. If you carry the card close to your body, moisture from sweat may corrode the internal parts causing a malfunction. Note that malfunctions deemed to be caused by water are not covered by the warranty, and may be impossible to repair. Since these malfunctions are not under warranty, even when repair is possible, it will be done at the user's expense.

■**Clean this terminal with a dry, soft cloth (Lens cleaning cloth).**

If this terminal is wiped with alcohol, paint thinner, benzine or detergent, the printing may disappear or color may fade.

■**Keep the connector contacts clean with a dry cotton swab.**

Clean the connector contacts with a dry cotton swab to prevent contacts from getting dirty which can result in intermittent connections. Be careful when cleaning the connector contacts.

■**Do not place the equipment near air conditioner outlets.**

Condensation may form due to rapid changes in temperature, and this may corrode internal parts and cause malfunction.

■**Do not place this terminal where excessive force will be applied to it.**

If this terminal is inserted to a full bag, or placed in a pocket and sat on, its internal PCBs may be damaged or malfunction. Such damage is not covered by warranty.

■**Read the individual manual attached to this terminal.**

This Terminal

■**Avoid using in extremely high or low temperatures.**

This terminal should be used within a temperature range from 5 °C to 35 °C and a humidity range from 45 % to 85 %.

■**This terminal may adversely affect fixed phones, televisions or radios in use nearby. Use as far as possible from such appliances.**

■**Keep a separate record of any information stored on this terminal and store the copies in a safe location.**

DOCOMO assumes no responsibility for the loss of any of your data.

■**Do not drop this terminal or subject it to shocks.**

Damage or malfunction may result.

■**Do not insert an USB connector to PC crookedly or do not pull it when it is inserted.**
Damage or malfunction may result.

■**Remove this terminal from the PC when transporting.**
Malfunction or damage may result.

■**It is normal for this terminal to become warm during use. You can continue to use it even when it is warm.**

■**Take care not to drop this terminal when removing this terminal from the carrying case (Sample).**

■**When it is not in use, keep this terminal in its carrying case (Sample) to keep the connector contacts clean.**
Dirty contacts may result in intermittent connections.

■**When putting this terminal in carrying case (Sample), keep it away from wet or high temperature place. Pay attention not to put excessive force on this terminal.**
Transformation and tarnish may result.

UIM

■**Do not put excessive force on the UIM when inserting or removing it into this terminal.**

■**Always keep the IC portion of the UIM clean.**

■**Clean the UIM with a soft, dry cloth (Lens cleaning cloth).**

■**Be sure to keep a separate note of the information registered to this terminal.**
DOCOMO assumes no responsibility for the loss of any of your data.

■**Visit docomo Shop to return the UIM for the environmental purpose.**

■**Do not scratch, touch carelessly or short circuit the IC portion.**
Data loss or malfunction may result.

■**Do not drop or give shock to the UIM .**
Malfunction may result.

■**Do not bend or put heavy things on the UIM.**
Malfunction may result.

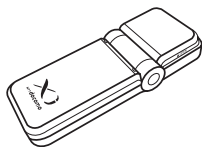
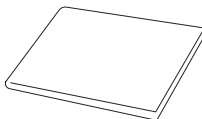
■**Do not insert UIM into this terminal with labels or stickers attached on.**
Malfunction may result.

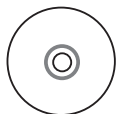
CAUTION

■ **Do not use the modified this terminal. Using modified this terminal result in violating the law of Electromagnetic Compatibility.**
This terminal has been complied with technical standard of wireless equipment stipulated by law of Electromagnetic Compatibility. As a proof, "Technical standard compliance mark 〒 " is indicated in the inscription seal. If this terminal is modified by turning the screw to the left to disassemble, technical standard compliance becomes invalid.
Please do not use this terminal during the time when technical standard compliance is being invalid, since you are in violation of the law of Electromagnetic Compatibility.

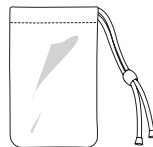
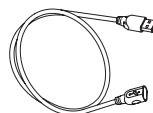
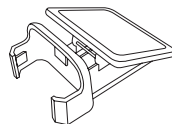
■ **Keep this terminal 5mm or more away from your body while communicating.**

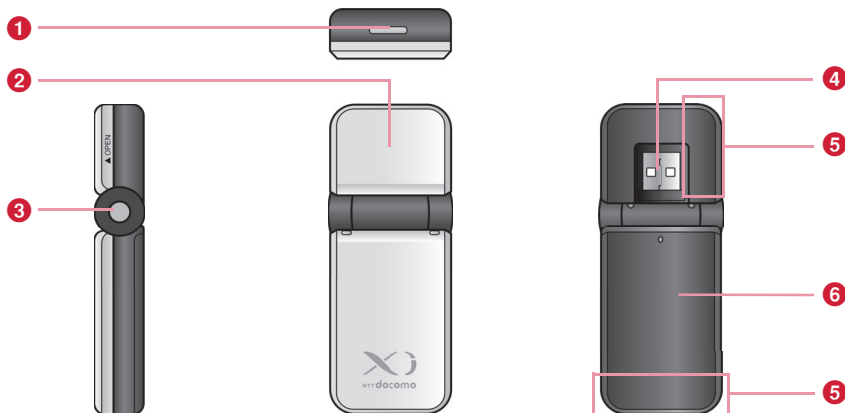
Basic Package

■ L-02C Terminal (With Front Cover L01, Back Cover L20 and Warranty)

■ L-02C INSTRUCTION MANUAL～Connection Guide～

■ L-02C CD-ROM

- L-02C Connection Software (For Windows/ Macintosh)
- L-02C APN Setting Tool (For Windows)
- L-02C INSTRUCTION MANUAL (PDF)

※Software specifications are subject to change without prior notice.

■ Carrying Case (Sample)

Put this terminal into the carrying case when not in use or carrying it.

■ USB Extension Cable (Sample)

■ Mounting Holder (Sample)

Before Using this Terminal

Names of Parts and Functions

❶ **Communication Status Lamp→P87**
Indicates status of this terminal

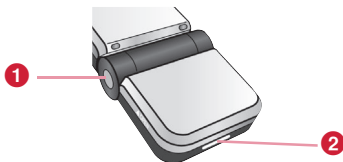
❷ **Front Cover L01**
The part for inserting front cover L01 is called front part.

❸ **PWR Lamp→P87**
Indicates the power supply conditions

❹ **USB Connector**
A connection terminal used to connect with PC

❺ **Antenna Part**
The antenna is inside this terminal.

❻ **Back Cover L20**
The part for inserting back cover L20 is called back part.

Mode Indication Lamp

Status		❶PWR Lamp	❷Status Lamp
Power ON		White	-
While communicating	LTE	White	Blue
	W-CDMA(3G)	White	Magenta
	HSDPA	White	Cyan
	HSUPA	White	Cyan
	GPRS	White	Green
	During packet communication (with no sent or received data)※	White	Blue-white
Out of service		White	Yellow
PIN1	PIN1 Lock	White	Red
	Waiting to unlock PIN1	White	Red

※ A long period with no sent or received data.

Using UIM

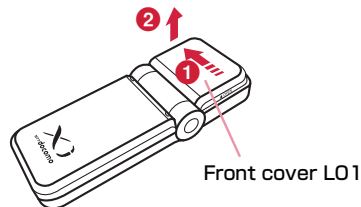
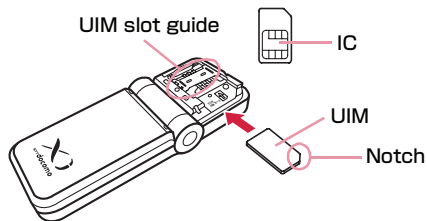
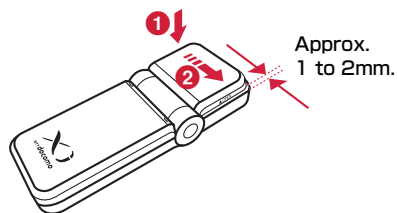
A UIM is an IC card that stores personal information such as your phone number. Without the UIM installed in this terminal, you cannot use data communication. For detailed information, refer to UIM Manual.

UIM cannot be used in this terminal. Exchange your UIM at a docomo Shop.

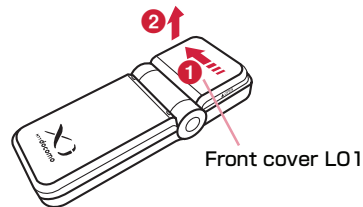
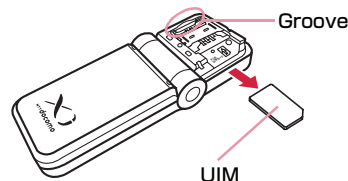
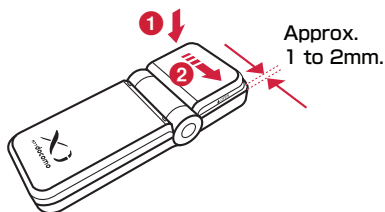
Inserting/Removing

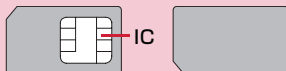
Inserting

Inserting a UIM with both hands.

1 Slide the front cover L01 in direction ❶, lift the cover as shown by ❷

2 Insert a UIM into the slot guide in the direction of arrow with the IC chip side down

3 Fit the front cover L01 to the ditch of this terminal at approximately 1 to 2mm. While pushing in the direction of ❶, slide the back cover in the direction of ❷ till hear back cover clicked

Removing

Remove a UIM with both hands.

1 Slide the front cover L01 in direction ❶, lift the cover as shown by ❷

2 Hook your finger tip over the groove of UIM slot, slide in the direction of arrow and remove the UIM

3 Fit the front cover L01 to the ditch of this terminal at approximately 1 to 2mm. While pushing in the direction of ❶, slide the back cover in the direction of ❷ till hear back cover clicked

Note

- Do not lose the removed UIM.
- Make sure to both sides of the UIM.

- Be careful not to scratch the UIM IC tip.
- Inserting a UIM in the reversed direction may cause malfunction.
- Inserting or removing the UIM with an excessive force may cause damage to your UIM.
- Do not remove the UIM while this terminal is inserted to a PC, it may cause damage to your UIM.

Security Code

You can set PIN1 code (Personal Identification Number) for UIM. The default setting for the PIN1 code is "0000". The PIN1 code is a 4 to 8-digit security code to be entered every time this terminal is turned on for user verification to prevent any unauthorized use by others.

> If your UIM is set to require a PIN1 code, data communication cannot be performed until the PIN1 code is entered. Use UIM before verifying the PIN1 code, or set (→"L-02C INSTRUCTION MANUAL (PDF)" P58) UIM to not verify the PIN1 code in advance.

■ Changing PIN1 Code

You can change the PIN1 code to any number. To prevent any unauthorized use by third parties, change it to your own number. If you improperly enter the PIN1 code 3 times in a row, further entry is locked automatically (PIN1 Lock), so be sure to keep a separate note of the numbers you set.

- Changing PIN1 Code. (→"L-02C INSTRUCTION MANUAL (PDF)" P59)

■ Unblocking PIN Code

The unblocking PIN code is the number in 8 digits used to unblock the PIN1 code. Details are written in the application of the contract (a duplicate copy) during the subscription. You are notified of your unblocking PIN code when purchase this terminal. If you improperly enter the unblocking PIN code for 10 times in a row, the UIM locks automatically.

Caution

- Do not set PIN1 code to numbers that can easily make a guess, such as "birth date", "part of your phone number", "numbers from address or room number", "1111" "1234", etc. Also memo your PIN1 code and keep it well.
- Keep your PIN1 code away from being known by other people. DOCOMO assumes no responsibility for the loss of any of your data results from abuse of PIN1 code.
- If you forgot your PIN1 code, you (if you are the covenanter) are required to bring your ID (driving license, etc.) and UIM to a docomo shop.
  For details, please contact "docomo Information Center" on the back cover of this manual.
- Unblocking PIN code is written on the proposal form handed in at time of contract in docomo shop. For covenanter who signed the contract other than docomo shop are required to bring your ID (driving license, etc.) and UIM to a docomo shop, or contact "docomo Information Center" on the back cover of this manual.

Available Communications

Xi Data Communication/FOMA Packet Communication

Fees for this communication method are based on the amount of exchanged data. You can perform data communication at a speed of up to 37.5Mbps for receiving data and up to12.5Mbps for sending data (Part of the indoor facilities within Xi area can reach the speed of up to 75Mbps for receiving data and up to 25Mbps for sending data) by using a connection that allows Xi data communication or FOMA packet communication such as "mopera U", one of DOCOMO's Internet connection services.

※ Communication speed is theoretical values when sending and receiving data which does not show the actual ones. The actual communication speed depends on communication environment and network congestion.

- DOCOMO offers Internet connection services, such as "mopera U". For details, visit the mopera U website.
  http://www.mopera.net/ (Japanese only)
- Depending on bandwidth, communication speed for receiving is theoretically 100/100/75/37.5Mbps (with bandwidth of [20/15/10/5MHz]), and for sending is 50/37.5/25/12.5Mbps (with bandwidth of [20/15/10/5MHz]).
- For the FOMA HIGH-SPEED areas outside Xi area, the maximum speed for receiving data is 7.2Mbps and for sending is 5.7Mbps.
- Sending and receiving data become 384kbps in FOMA area out of Xi area and FOMA HIGH-SPEED area.
- The communication speed varies depending on the access point and radio wave status.
- The communication speed varies depending on the overseas carrier or network when using overseas.

Note

- Communication fees become high when performing communications with large amount of data such as browsing websites with many graphics or downloading data.
- Data communication may take more time or become difficult to connect depending on the network congestion. For customers who use a large amount of data communication (Approximate 380MBytes data or more is used within the last three days including the current day), it may have difficulties in sending and receiving data on time. Also, data communication may get disconnected in the following cases such as when a large amount of data communication occurs at a time or within a certain period of time, when being connected for a long time, or when connecting several times in a row within a certain period of time.
- This terminal does not support 64K data communication.
- This terminal does not support Remote Wakeup.
- This terminal does not support FAX communication.

Usage Notes

■ **Internet service provider (ISP) fees**

Fees to an ISP may be required to connect to the Internet. These fees are added to the Xi service fees and are paid to your ISP directly. For details on connection fees, contact your ISP.

You can subscribe to such as "mopera U", one of DOCOMO's Internet connection services. Charge for subscribing "mopera U" is required.

For service and connection settings of "mopera U", visit the "mopera U" website.

http://www.mopera.net/ (Japanese only)

■ **User authentication to access networks**

Depending on the access point, user authentication (ID and password) may be required to connect. If required, enter the ID and password from communication software or dial-up network. The ID and password will be provided by the network administrator of your ISP or the access point. For details, contact your provider or access point network administrator.

■ **Requirements for communication**

The following conditions must be met to perform communications using this terminal. However, a connection may not be established if traffic is heavy at the base station or if radio signals are weak.

- This terminal must be in Xi network, FOMA network or DOCOMO's roaming service area.
- The access point corresponds to the Xi data communication or FOMA packet communication.

Connecting this Terminal to a PC

When connecting this terminal with a PC for the first time, it is required to install L-02C connection software (including a driver). For installing L-02C connection software, refer to the following.

- For Windows: "Preparation for using L-02C" (→P102)
- For Macintosh: "Preparation for using L-02C" (→P111)

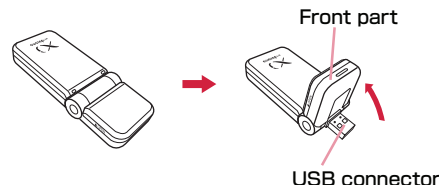
Inserting

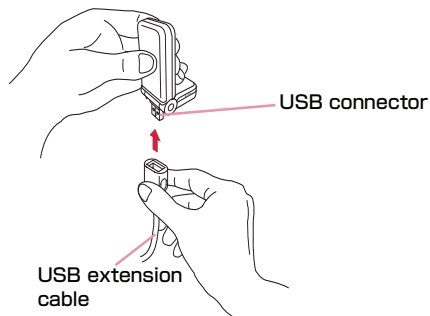
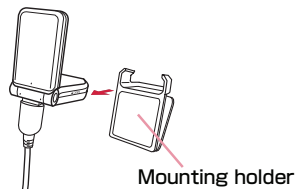
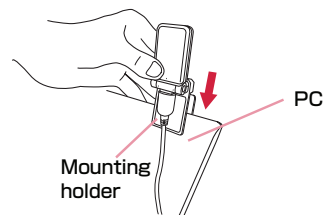
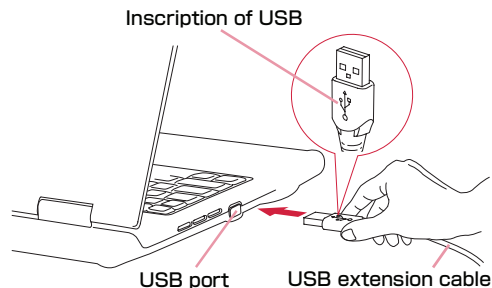
1 Turn on a PC

2 Connect this terminal with a PC

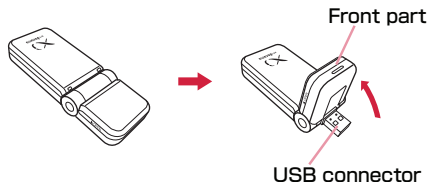
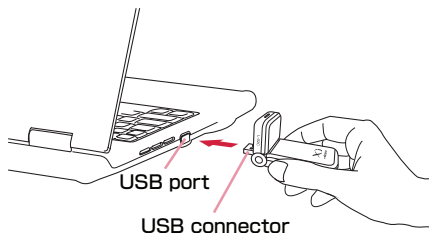
■ **When using the mounting holder (Sample) and the USB extension cable (Sample)**

- Use the mounting holder and the USB extension cable to fix the terminal on the PC

❶**Lift the front part as the following**

❷Hold the connector part of the USB extension cable and insert into the USB connector of this terminal in direction of arrow

* Firmly insert into the USB connector.

❸Fix the mounting holder into this terminal

❹Fix the mounting holder on the top part of PC

❺Hold the connector part of the USB cable and insert it into PC USB port in direction of arrow with inscription of the USB side up

When connecting with a PC directly

- Insert this terminal into a PC USB port and use it directly.

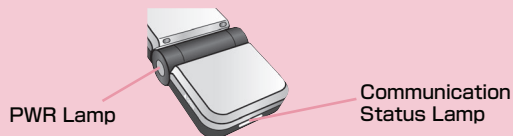
❶Lift the front part as the following

❷Insert the USB connector of this terminal into the PC USB port

* Malfunction or damage may result when subject this terminal to severe shocks due to carelessness.

3 Start communication connection

- Using "L-02C connection software"
  (→"L-02C INSTRUCTION MANUAL (PDF)" P51)
- Using "Mobile Broadband"
  (→"L-02C INSTRUCTION MANUAL (PDF)" P63)
- Configuring manually
  (→"L-02C INSTRUCTION MANUAL (PDF)" P69)

Note

PWR Lamp

Communication Status Lamp

- Check if the color of PWR lamp is white while attempting to connect communication and the color of Communication Status Lamp is blue, magenta, cyan or green.
- The message of "さらに高速で実行できるデバイス(The device that can run in high speed)" may be displayed on the task tray when inserting this terminal into the PC. Available to use without changing the settings.
- Keep the PC away from entering conditions such as sleep (standby) or power off. Operations may become abnormal. In that case, remove this terminal first before the PC turns to sleep (standby) or power off.

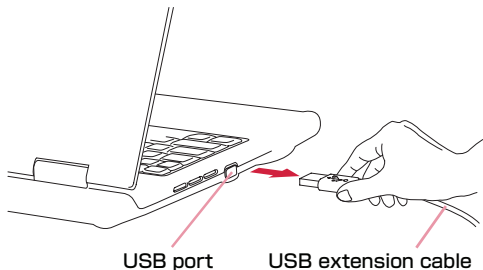
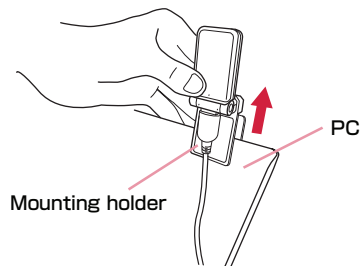
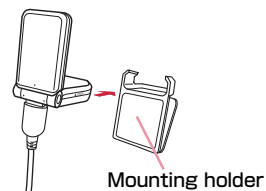
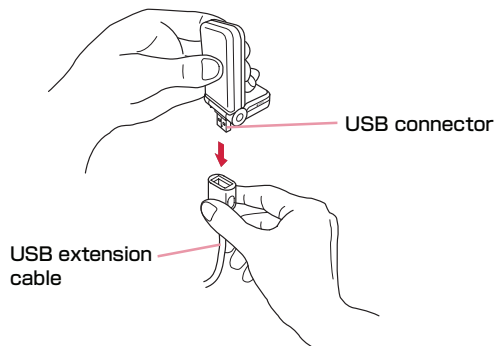
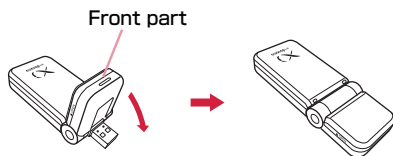
Removing

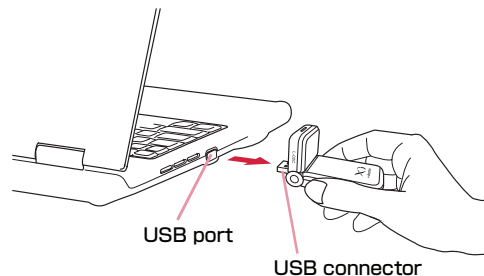
1 Disconnect data communication

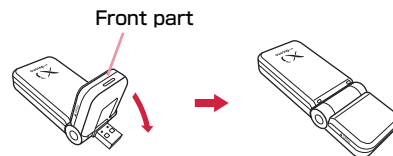
If the L-02C connection software is running, or L-02C APN setting tool is running, close it first. Make sure the data connection is disconnected.

2 Remove this terminal

■ When using the mounting holder (Sample) and the USB extension cable (Sample)

❶Hold the connector part of the USB extension cable and pull out this terminal from PC USB port in direction of arrow

❷Remove this terminal along with the mounting holder from the top of the PC.

❸Remove this terminal from the mounting holder

❹Hold the connector part of the USB extension cable and pull out from the USB connector in direction of arrow

❺Stretch the front part as the following

■ When connecting to a PC directly

❶Hold the USB connector part of this terminal and pull out this terminal straightly from PC USB port

❷Stretch the front part as the following

Caption

Caution

- If you force to remove this terminal or pull out the USB connector, malfunction may result.
- Removing this terminal from the PC during data communication may suspend data communication and result malfunction or data losses.

Setting Up

Setting Up

■ Data communication via L-02C

"Communication configuration file (Driver)" is required to install on a PC to recognize this terminal.
In L-02C Setup, not only "Communication configuration file (Driver)" , the data communication software of "L-02C connection software" and "L-02C APN setting tool" (Windows only) will be installed as well.

Data communication is available with only L-02C connection software, if necessary using Mobile Broadband (Windows 7 only) is also available.

For PC with Windows OS in it, data communication is also available based on configuring manually after installing L-02C connection software.

■ Installation of L-02C connection software

Since L-02C has zero installation, when connecting this terminal to a PC for the first time, "L-02C connection software" installation screen appears automatically. "Zero installation" is supported by PC with Windows OS in it. Even if zero installation works improperly, L-02C connection software and L-02C APN setting tool (Windows only) can be installed via the included CD-ROM.

In addition, although Macintosh does not support the zero installation feature, installation continues when click the CD-ROM icon appears when connecting this terminal to a PC.

The procedure of setting up is described on the next page.

Work Flow of Setting Up

Connecting this terminal with a PC
- Windows Version▶P102
- Macintosh Version▶P111

Preparing the included CD-ROM
- Windows Version▶P106
- Macintosh Version▶P114

↓

Installing L-02C connection software (including a driver), L-02C APN setting tool (Windows only)

↓

Confirmation after Setup
- Windows Version▶P107/ • Macintosh Version▶P114

↓ Using L-02C connection software

Environment configurations of L-02C connection software
▶"L-02C INSTRUCTION MANUAL (PDF)" P56

↓

Communication connection via L-02C connection software
▶"L-02C INSTRUCTION MANUAL (PDF)" P52

↓ Using Mobile Broadband of Windows 7

Communication connection through Mobile Broadband
▶"L-02C INSTRUCTION MANUAL (PDF)" P65

↓ Configuring manually

Configuring Communication manually
- Windows Version

▶"L-02C INSTRUCTION MANUAL (PDF)" P70

↓

Configuring Communication manually via OS
- Windows Version

▶"L-02C INSTRUCTION MANUAL (PDF)" P86

Operating Environments

Using this terminal under the following operational environments.

Item	Requirement
PC Main Unit	• Available to use CD-ROM drive on PC/AT and Mac compatible. • USB port (standard of Universal Serial Bus Specification Rev2.0) • Operations via USB hub (including USB port on monitor and keyboard) cannot be guaranteed. • Display resolution of 800×600 pixels, 16-bit Color (65,536) or higher is recommended.
OS※1	Windows XP SP3 or later (Japanese version) Windows Vista SP2 or later (Japanese version) Windows 7 (Japanese version) Mac OS X 10.5.8 (32bit Japanese version)※2 Mac OS X 10.6.4 (32bit Japanese version)※2
Required Memory※3	Windows XP: 256Mbytes or more Windows Vista: 512Mbytes or more Windows 7: 1Gbytes or more(32bit) Windows 7: 1Gbytes or more (64bit) Mac OS X 10.5.8: 512Mbytes or more Mac OS X 10.6.4: 1Gbytes or more
Hard Disk Space※3	50Mbytes or more available space

※1 DOCOMO does not guarantee the operation under the supported OS of the OS is changed through update.
※2 Only Mac with CPU made by Intel Corporation is available.
※3 Required memory or available hard disk space may vary depending on the system environment of a PC.

For latest information of operation environment, visit DOCOMO's "international website"

Note

- The software may not work depending on your operating system environment and type of machine. DOCOMO does not guarantee any operation other than the operation environment described in the Table on the left side.

Windows Version

Installation of L-02C connection software is only required when connect this terminal to your PC for the first time.

※The following procedures or screen images are all based on the example of Windows 7.

Note

- When installing, insert this terminal into USB port after OS is activated.
- DO not insert the CD-ROM into CD drive when zero installation (Auto) starts.
- Do not remove this terminal while installing.
- Installation may take several minutes depending on the PC.
- Do not install or uninstall during data communication.
- End all the applications before installing. Also end programs on Windows including virus check software.
- When installing, make sure to install from the account with PC supervisor privileges. An error will occur during installation if you install from the account without privileges.
- For details on setting up PC supervisor privileges, contact your computer manufacturer or Microsoft Corporation.

■ Notes when CD/DVD playback and written software are being installed into a PC

In some PCs, this terminal may not be recognized normally depending on the playback of the installed CD/DVD and the version of the written application software even if this terminal is connected when the application software residents※ or during being activated.

Refer to "Troubleshooting" for proper solutions. (→P120)

※The software under the state of icons being displayed on task tray is also included.

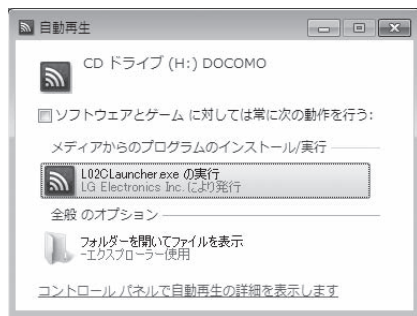
Preparation before Using L-02C

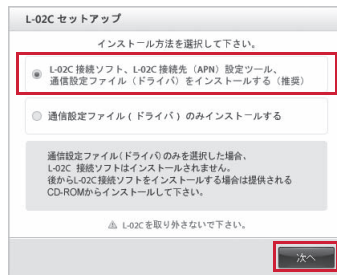
Setting Zero Installation (Auto)

1 Turn on a PC and activate OS

2 Connect this terminal with the PC

The setup screen of L-02C connection software is automatically displayed by zero installation.

"自動再生(Auto play)" screen will be displayed depending on settings. If the screen is displayed, check "ソフトウェアとゲームに対しては常に次の動作を行う(Always operates for software and game)" and select "L02CLauncher.exeの実行(Execute L02CLauncher.exe)".

- When the setup screen of L-02C connection software is not automatically displayed, install via the included CD-ROM. (→P106)

3 Select "L-02C 接続ソフト、L-02C 接続先(APN)設定ツール、通信設定ファイル(ドライバ)をインストールする(推奨)(L-02C connection software, L-02C APN setting tool, Communication configuration file (driver)(recommended))" and click "次へ(Next)"

■ Install the communication configuration file (Driver) only

❶Select "通信設定ファイル(ドライバ)のみインストールする(Install communication configuration file (Driver) only)" and click "次へ(Next)"

❷Click "はい(Yes)" on "ユーザー アカウント制御(User account control)" screen

■For Windows Vista

- Click "続行(Continue)" on "ユーザー アカウント制御 (User account control)" screen

■For Windows XP

- "ユーザーアカウント制御 (User account control)" screen is not displayed, follow the next procedure.

❸Confirm the content of "使用許諾契約(The license agreement)", check "使用許諾契約の全条項に同意します。(I have read all the stipulations of this license agreement and I agree.)" and click "次へ(Next)"

❹Click "次へ(Next)"

❺Click "OK"

❻Confirm that this terminal is recognized by PC
❼Confirm the settings of driver following "インストールしたL-02C 通信設定ファイル(ドライバ)を確認する(Confirm the installed L-02C communication configuration file (Driver))" (→P107)

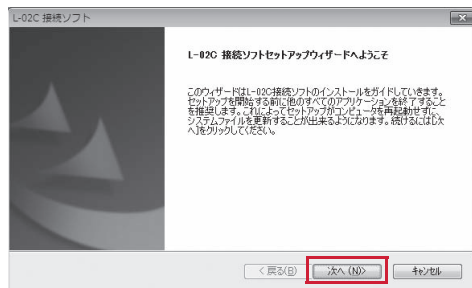
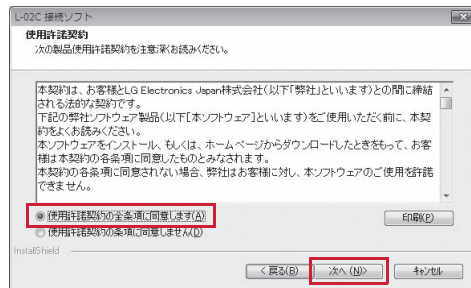
4 Click "はい(Yes)" on "ユーザー アカウント制御(User account control)" screen

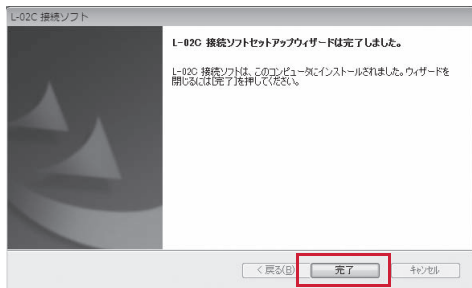
■ For Windows Vista

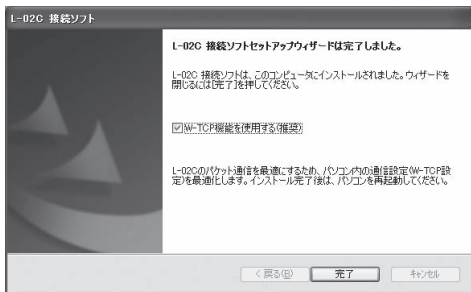
- Click "続行(Continue)" on "ユーザー アカウント制御 (User account control)" screen

■ For Windows XP

- "ユーザー アカウント制御(User account control)" screen is not displayed. Follow the next step.

5 Click "次へ(Next)"

6 Confirm the contents of "使用許諾契約(The license agreement)". When agree with the contents, select "使用許諾契約の全条項に同意します(I agree with all the license agreement stipulations)" and click "次へ(Next)"

Installation starts.

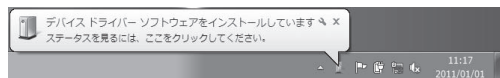
7 Click "完了(Finish)"

For Windows XP

- If use W-TCP function (recommended), make sure that "W-TCP機能を使用する（推奨）(Use WTCP function (recommended))" has the check mark and click "完了(Finish)".

Installation of L-02C communication configuration file (Driver) continues.

※It may take time to move to the next procedure depending on your PC.

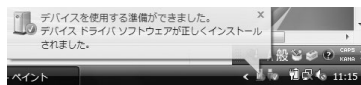
8 Confirm whether this terminal is recognized by the PC

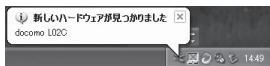
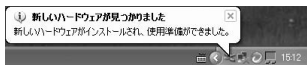
On the lower right side of task tray, "デバイスドライバーソフトウェアをインストールしています(Device driver software is being installed)" appears, and this terminal is recognized automatically.

※To recognize this terminal automatically, "L-02Cが取り外されました(L-02C is disconnected)" may appear on L-02C connection software temporarily. After a while, this terminal will be recognized.

If this terminal is recognized properly, "デバイスを使用する準備ができました(The device is ready for use)" will appear.

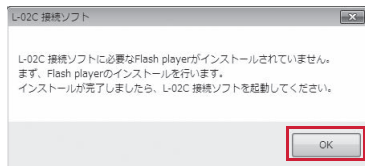
For Windows Vista

- On the bottom right of task bar, a message of "デバイスドライバソフトウェアをインストールしています(Device driver software is being installed)" appears, this terminal will be recognized automatically.

- If this terminal is recognized normally, a message of "デバイスを使用する準備ができました(Ready to use the device)" will appear.

■For Windows XP

- On the lower right side of task tray, "新しいハードウェアが見つかりました (A new hardware has been found.)" appears, and this terminal is recognized automatically.

- If this terminal is recognized properly, "新しいハードウェアがインストールされ、使用準備ができました。(A new hardware has been installed and ready for use.)" will appear.

9 Install Flash Player

A message appears if Flash Player is not installed in your PC. Install Flash Player by the following procedures.

❶ Click "OK"

❷ Click "はい(Yes)" on "ユーザー アカウント制御(User account control)" screen

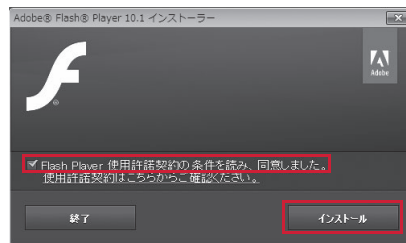
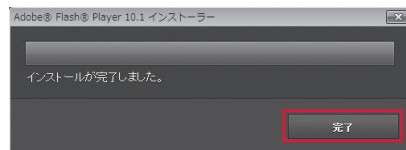
Installation of Flash Player starts.

■For Windows Vista

- Click "続行(Continue)" on "ユーザーアカウント制御 (User account control)" screen.

■For Windows XP

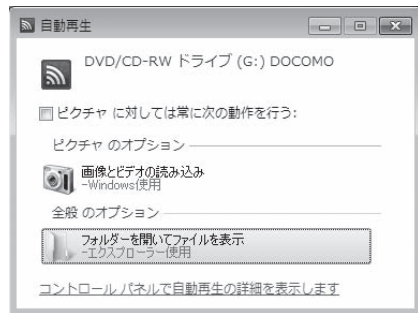
- "ユーザーアカウント制御 (User account control)" screen is not displayed, move to the next procedure.

❸ Read the content of "使用許諾契約(License agreement)", check "使用許諾契約の条件を読み、同意しました。(I agree with the license agreement stipulations)" and click "インストール(Install)"

❹ Click "完了(Finish)"

Installation finishes.

If "W-TCP機能を使用する（推奨）(Use W-TCP function (recommended))" has the check mark, restart the PC after installation.

Setting Manually (CD)

1 After starting a PC ▶ Insert the included CD-ROM into the PC

"自動再生(Auto play)" screen will appear depending on setting. Select "フォルダーを開いてファイルを表示(Open a folder to display files)".

2 Select "Windows" inside the CD-ROM ▶ "L-02C 接続ソフト、L-02C 接続先(APN)設定ツール(L-02C connection software, L-02C APN setting tool)" ▶ "LGCM_02C_v1.0.0.0J.exe"

■ Install the communication configuration file (Driver) only

❶Select "Windows" inside the CD-ROM▶"Driver" ▶"docomo_L02C_ModemDriver_WHQL_Ver_1.6_All.exe"

❷Click "はい(Yes)" on "ユーザー アカウント制御(User account control)" screen

■For Windows Vista

- Click "続行(Continue)" on "ユーザー アカウント制御 (User account control)" screen

■For Windows XP

- "ユーザーアカウント制御 (User account control)" screen is not displayed, follow the next procedure.

❸Confirm the content of "使用許諾契約(The license agreement)", check "使用許諾契約の全条項に同意します。(I have read all the stipulations of this license agreement and I agree.)" and click "次へ(Next)"

❹Click "次へ(Next)"

❺Click "OK"

❻Connect this terminal to the PC

❼Confirm that this terminal is recognized by PC

❽Confirm the settings of driver following "Confirm the installed L-02C communication configuration file (Driver)". (→P107)

3 For subsequent steps, operate the same procedures as those after procedure 4 in "Setting Zero Installation (Auto)"(→P103)

※ Connect this terminal to the PC after clicking "完了(Finish)" in procedure 7.
"自動再生(Auto play)" screen will be displayed depending on the settings. If the screen is displayed, check "ソフトウェアとゲームに対しては常に次の動作を行う(Always operates for software and game)" and select "LO2CLauncher.exeの実行(Execute LO2CLauncher.exe)". This terminal will be recognized by the PC.

Confirming after Installation

Confirming L-02C Connection Software

1 Double click L-02C connection software icon displayed on the desktop

When the following screen is displayed, the confirmation of installation finishes.

Note

- For Windows 7, L-02C connection software cannot be activated due to the setting of mobile broadband auto connection. Set to "自動的に接続しない(Do not connect automatically)". →"L-02C INSTRUCTION MANUAL (PDF)" P65

Confirming the Installed L-02C Communication Configuration File (Drivers)

Confirm whether L-02C Communication Configuration File (Drivers) is set in a PC.

1 Click "スタート(Start)" ▶ "コントロールパネル(Control panel)" ▶ "システムとセキュリティ(System and security)"

■ For Windows Vista

- Click "スタート(Start)" ▶ "コントロールパネル(Control panel)" ▶ "システムとメンテナンス(System and maintenance)"

■ For Windows XP

- Click "スタート(Start)" ▶ "コントロールパネル(Control panel)" ▶ "パフォーマンスとメンテナンス(Performance and maintenance)" ▶ "システム(System)"

2 Click "デバイス マネージャー(Device manager)"

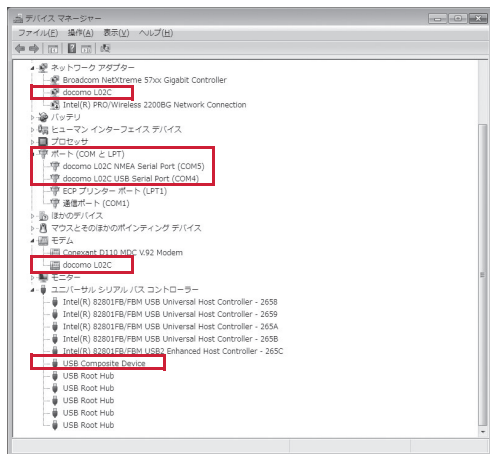
■ For Windows Vista

- Click "デバイス マネージャ (Device manager)" ▶ "続行(Continue)"

■ For Windows XP

- Click "ハードウェア(Hardware)" tab ▶ "デバイス マネージャ(Device manager)"

3 Click each device display to confirm the driver name installed

- Confirm whether the driver name is displayed below "ネットワーク アダプター (Network adapter)", "ポート(COM と LPT)(Port (COM and LPT))", "モデム (Modem)", "ユニバーサル シリアス バス コントローラー (Universal Serial Bus Controller)"

- COM port number differs depending on user and PC.

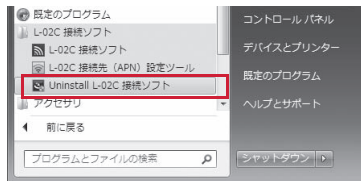
OS	Device name	Driver name
Windows 7	Network Adapter	docomo L02C
	Port (COM and LPT)	docomo L02C NMEA Serial Port docomo L02C USB Serial Port
	Modem	docomo L02C
	Universal Serial Bus Controller	USB Composite Device
Windows Vista	Network Adapter	docomo L02C
	Port (COM and LPT)	docomo L02C NMEA Serial Port docomo L02C USB Serial Port
	Modem	docomo L02C
	Universal Serial Bus Controller	USB 複合デバイス (USB Composite Device)
Windows XP	Network Adapter	docomo L02C
	Port (COM and LPT)	docomo L02C NMEA Serial Port docomo L02C USB Serial Port
	Modem	docomo L02C
	USB(Universal Serial Bus) Controller	USB 複合デバイス (USB Composite Device)

Note

- After inserting this terminal into the PC USB port, if this terminal is not recognized, try with another USB port. Depending on PC, this terminal may not be recognized with certain USB port.
- When communicating data with L-02C connection software, application operation of L-02C connection software is required.→"L-02C INSTRUCTION MANUAL (PDF)" P56
- When using mobile broadband of Windows 7 to communicate data, set in mobile broadband. →"L-02C INSTRUCTION MANUAL (PDF)" P66
- When communicating data with neither L-02C connection software nor Mobile broadband of Windows 7, configure it manually.→"L-02C INSTRUCTION MANUAL (PDF)" P70

Uninstalling L-02C Connection Software (including a driver)

- Before uninstalling, remove this terminal from the PC.
- When uninstalling, make sure to install from the account with PC supervisor privileges.

1 **Click "スタート(Start)" ▶ "すべてのプログラム(All programs)" ▶ "L-02C 接続ソフト(L-02C connection software)" ▶ "Uninstall L-02C 接続ソフト(Uninstall L-02C connection software)**

■ **For Windows Vista**

- Click "スタート(Start)" ▶ "すべてのプログラム(All programs)" ▶ "L-02C 接続ソフト(L-02C connection software)" ▶ "Uninstall L-02C 接続ソフト(Uninstall L-02C connection software)".

■ **For Windows XP**

- Click "スタート(Start)" ▶ "すべてのプログラム(All programs)" ▶ "L-02C 接続ソフト(L-02C connection software)" ▶ "Uninstall L-02C 接続ソフト(Uninstall L-02C connection software)".

2 Click "はい(Yes)" on "ユーザーアカウント制御 (User account control)" screen

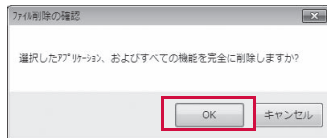
Click "いいえ(No)" to stop uninstalling.

■ For Windows Vista

- Click "続行(Continue)" on "ユーザー アカウント制御 (User account control)" screen

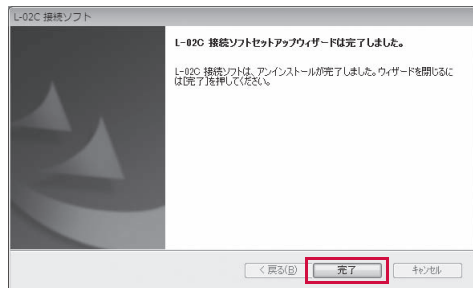
■ For Windows XP

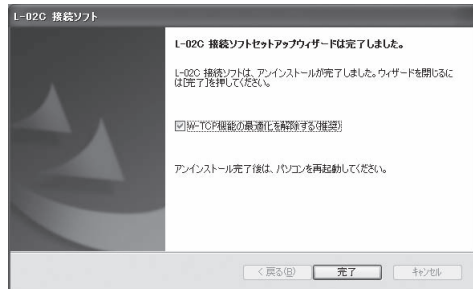
- "ユーザーアカウント制御 (User account control)" screen is not displayed, follow the next procedure.

3 Click "OK" on "ファイル削除の確認(Confirmation of deleting files)" screen

4 Click "はい(Yes)" on "「ユーザーデータ削除の確認」(Confirming to delete user data)"if user data is no more necessary.

In case that "いいえ(No)" is clicked, user data will not be deleted.

- APN information and connection type (IPv4, IPv4/v6, IPv6) will not be deleted even if "はい(Yes)" is clicked.

5 Click "完了 (Finish)"

■ For Windows XP

- Make sure that "W-TCP機能の最適化を解除する（推奨）(Cancel optimization of W-TCP function (recommended))" has the check mark and click "完了 (Finish)".

Uninstallation finishes.

- Restart your PC after uninstalling.

Macintosh Version

Installation of L-02C connection software is only required to install when connect this terminal to your PC for the first time.

※The following images are the examples of "Mac OS X 10.6". Images may differ for "Mac OS X 10.5".

Note

- When installing, insert this terminal into USB port after OS is activated.
- Do not insert the CD-ROM into CD drive when installation via this terminal starts.
- Do not remove this terminal while installing.
- End all the applications before installing. Also end programs on Macintosh including virus check software.
- When installing, make sure to install from the account with PC supervisor privileges.

Preparation before Using L-02C

Setting via this Terminal

1 Turn on the PC and activate OS

2 Connect this terminal with the PC

CD-ROM icon is displayed on the desktop.

3 Double click the CD-ROM icon

4 Double click "L-02C 接続ソフト インストーラー.pkg (L-02C connection software installer.pkg)"

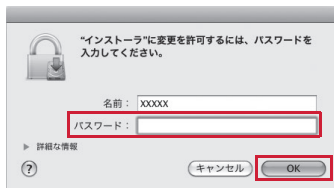
5 Click "続ける (Continue)"

6 Click "続ける (Continue)"

7 Confirm "使用許諾契約 (The license agreement)". If agree with the contents, click "同意する (I Agree)"

8 Select an installation destination, click "続ける (Continue)"

9 Click "インストール (Install)"

10 Enter administrator password▶Click "OK"

11 Click "インストールを続ける(Continue installing)"

12 Click "再起動(Restart)"

The PC restarts. Installation finishes.
Remove this terminal from the PC temporarily.

Setting via CD-ROM

1. **Start a PC ▶ Insert the CD-ROM into the PC**

   CD-ROM icon on desktop appears.

2. **Double click CD-ROM icon ▶ "Mac" ▶ "L-02C 接続ソフト(L-02C connection software)" in the order**

3. **For subsequent steps, operate the same procedures as those after procedure 4 in "Setting by this terminal" (→P111)**

   ※ Connect this terminal to the PC after restarting the PC in procedure 12.

Confirming after Installation

Confirming L-02C Connection Software

1. **Connect this terminal with the PC**

2. **Drag the CD image (DOCOMO icon) displayed on desktop into trash bin**

   This terminal will be recognized as a modem.

3. **Click "'ネットワーク'環境設定('Network' environment configuration)"**

4 Select "docomo L02C" and click "適用(Apply)"

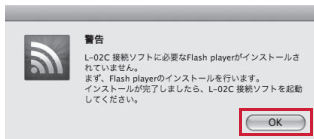
5 Close "ネットワーク(Network)" screen

6 Double click to launch "Finder" ▶ "アプリケーション(Application)" ▶ "L-02C 接続ソフト.app (L-02C connection software.app)"

When the following screen is displayed, the confirmation of installation finishes.

Install Flash Player

A message appears when activating the L-02C connection software for the first time if Flash Player is not installed in your PC. Install Flash Player following the procedures below.

❶Double click to launch "Finder" ▶ "アプリケーション (Application)" ▶ "L-02C 接続ソフト.app (L-02C connection software.app)"

❷Click "OK"

❸Confirm the content of "使用許諾契約(The license agreement)", check "使用許諾契約の条件を読み、同意しました。(I have read the stipulations of this license agreement and I agreed.)" and click "インストール (Install)"

❹Enter administrator password ▶ Click "OK"

❺Click "完了(Finish)"

Installation finishes.

Note

- When communicating data via L-02C connection software, setting environment configuration of L-02C connection software is required.→"L-02C INSTRUCTION MANUAL (PDF)" P56

Uninstalling L-02C Connection Software (including a driver)

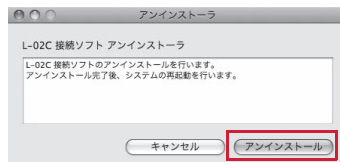
- Before uninstalling, remove this terminal from the PC.
- When uninstalling, make sure to install from the account with PC supervisor privileges.

1 Insert the included CD-ROM into a PC

CD-ROM icon is displayed on the desktop.

2 Double click the CD-ROM icon ▶ "Mac" ▶ "L-02C 接続ソフト(L-02C connection software)"

3 Double click "アンインストーラ.app (Uninstaller.app)"

4 Click "アンインストール(Uninstall)"

5 Enter administrator password ▶ Click "OK"

6 Make sure this terminal is not connected to the USB port before restarting

7 Click "再起動(Restart)"

The PC restarts. Uninstallation finishes.

Appendix/Troubleshooting

Troubleshooting

First, check whether software is required to update. Update software if necessary. (Updating Software⇒P125) Contact General Inquiries specified by DOCOMO located in "Repairs" (Japanese only) at the last page of the manual if the symptom is not improved after confirming the item to check.

■ This terminal is not recognized

Symptom	Check
This terminal is not recognized	Insert the USB port firmly into this terminal.
	Verify the L-02C Communication Configuration Files (Drivers) for this terminal functioning properly.→P101, P111
	This terminal may not be recognized correctly when activating the PC with this terminal being connected, during restarting or after retrieving from the states of standby (sleeping)/stopping during packet communication. Remove this terminal from the PC and insert again after restarting the PC. Delete the driver of this terminal on device manager when "!" appears in this terminal device. Only install the driver again.
	The UIM will not be able to use if PIN1 unlock code is wrongly entered 10 times in a row. For further information, visit docomo Shop.

Symptom	Check
This terminal is not recognized	■Notes when CD/DVD playback and written software are being installed into a PC In some PCs, this terminal may not be recognized normally depending on the playback of the installed CD/DVD and the version of the written application software even if this terminal is connected when the application software residents※ or during being activated. Try the following methods in that case. ■To recognize after finishing the application being activated ❶Remove this terminal from the PC ❷Finish CD/DVD playback and the executants of written application software ❸Connection this terminal to the PC ■To recognize via (DOCOMO) icon ●For Windows 7 • Double click "スタート(Start)" ▶ "DOCOMO" icon of "コンピューター (Computer)". ●For Windows Vista • Double click "スタート(Start)" ▶ "DOCOMO" icon of "コンピュータ (Computer)". ●For Windows XP • Double click "スタート(Start)" ▶ "DOCOMO" icon of "マイコンピュータ (My computer)". ※The software under the state of icons being displayed on task tray is also included.

■ Communication problems

Symptom	Check
Communications are not possible	Verify if signals are received in the service area.
	Check if you set the UIM setting to "Unlocking PIN1". →"L-02C INSTRUCTION MANUAL (PDF)" P58 If it is set to "PIN1 Lock", launch the L-02C connection software, then enter PIN1 code. →"L-02C INSTRUCTION MANUAL (PDF)" P59
	Check the setting of this terminal and the APN registration.
	When connecting manually by L-02C is not available, open the property of dial-up connection and make sure that only "docomo L02C" has check mark in "接続の方法(Connection method)". (If the modem inside PC or other modems have check marks, packet connection may be incorrect.)
	Even if internet auto connection is set to "On", auto connection may not be available depending on the PC or NW. In that case, remove this terminal and insert it into the PC again.
	When using internet by this terminal, make sure that wired/wireless LAN or other communication devices are disconnected.

■ Problems with AT Commands

Symptom	Check
[ERROR] appears when AT command is entered	Verify if you entered a correct AT command.
	Check the properties of the terminal software to see whether a device other than this terminal is selected.
[OK] does not appear after an AT command is entered	Check the L-02C Communication Configuration Files (Drivers) have been installed and functioned properly.
	Verify if the commands start with "AT" or "at".

■ Zero installation fails

Symptom	Check
New hardware detection screen appears	If "L-02Cセットアップ (L-02C Setup)" screen does not appear, and the input of driver is required, cancel it temporarily. Remove this terminal from the USB port of PC and insert again. ※PC configuration may cause installation failed. In this case, install from CD-ROM →P106.
	Do not start zero installation during OS activation. It may take several minutes depending on the PC. Make sure to start the installation after the PC runs normally.

■ Other problems

Symptom	Check
The terminal stopped working suddenly	Verify that the UIM is properly inserted to this terminal.→P87
	Your PC operating environments may have changed because a new peripheral or software was installed. Make a confirmation with manufacturer or maker of accessory or software.
This terminal is not detected if it is inserted into a USB port of PC after installing the L-02C Communication Configuration Files (Drivers)	Please confirm the following. • Whether the PC or OS you are using is in the latest condition? (If required, apply revision program of OS or a maker.) • Whether this terminal recognizes normally when other USB devices are inserted into the USB port of PC? • Whether this terminal operates normally when being inserted into another PC? • Whether this terminal operates normally when PC is reset to its default? ※For inquiries related to OS or PC, contact Microsoft or PC manufactures.
Internet connection speed decreased significantly	If insert this terminal into PC directly, use the supplied "USB extension cable (Sample)" when it is far from PC.
	Speed may turn slow in unsteady areas such as LTE/W-CDMA/HSDPA/HSUPA/GPRS service environment. Move it to another place and connect again.
Back cover L20 is deviated	Fit the back cover L20 to the ditch of back part and slide till it clicks.→P86

Error Messages

Error Messages	Description
圏外	You are out of service area or available network.
使用可能ネットワークがありません。ネットワークを検索しますか。	You may be out of service area or available network, or network error. Set network setting again.
L-02C リセットに失敗しました。	This terminal failed in resetting. Check if this terminal is inserted correctly in PC and if it is recognized by PC.
接続中には設定変更できません。設定のためには接続を解除してください。	You cannot customize setting during data communication. Set again after closing data communication.
変更するPIN1コードと確認用のPIN1コードが異なっています。再入力してください	Two of new PIN1 code are not identical each other. New PIN1 code you want to change is not matched to the PIN1 code you entered for verification purpose. Enter correct PIN1 code.
ドコモUIMカードが挿入されているか確認して下さい。	Make sure to insert UIM into this terminal before inserting to a PC.
L-02Cが取り外されました。	Do not remove this terminal while using this terminal.
PIN1コードの入力を3回失敗しました。PINロック解除コードを入力してください。	An incorrect PIN1 code was improperly entered 3 times in a row. Available functions will be limited. Enter unblocking PIN code to unlock.
PIN1コードが違います。PIN1コードを再入力してください。（リトライ○/3）	An incorrect PIN1 code has been entered. Enter the correct PIN1 code again.
PIN1コードは、4～8桁の数字です	Valid PIN1 code is from 4 to 8 digits.
PIN1コードをPIN1ロックに設定してください。	To change the PIN1 code, PIN1 must be locked. Switch PIN1 unblocking to PIN1 blocking.
PIN1ロック解除コードが違います。再入力してください。（リトライ○/10）	An incorrect unblocking PIN code was entered. Please enter the correct unblocking PIN code.
PINロック解除コードの入力を10回間違えたため、L-02Cがロックされました。ドコモの窓口までお問い合わせください。	You are no longer able to use UIM that unblocking PIN code has been improperly entered 10 times in a row. Please contact docomo Shop.

Warranty and After-Sales Service

Warranty

- A written warranty is provided with every terminal. Make sure that you receive it. Store the warranty in a safe place after you read it and verified that it contains the "Shop name/date" you purchased the product. If the written warranty does not contain the necessary information, contact the Shop where you purchased the product. The warranty is valid for a period of one year from the date of purchase.
- This product and all accessories are subject to change, in part or whole, for the sake of improvement without prior notice.

After-Sales Service

If Problems Occur

- Before requesting service, read the "Troubleshooting" section in this manual. If the problem still persists, contact one of the numbers listed in "Repairs" (Japanese only) on the back of this manual.

For Inquiries Result or When Repair is Required

- Take this terminal to a service center designated by DOCOMO. Be sure to check the operating hours of the service center. You must present the warranty.
  Please note that depending on malfunctions, it may take more than a day to repair.

■ In the warranty period

- This terminal will be repaired at no charge subject to the conditions of the warranty.
- The warranty must be presented to receive warranty service. The subscriber will be charged for the repair of items not covered in the warranty or repairs of defects resulting from misuse, accident or neglect even during the warranty period.
- The subscriber is charged even during the warranty period for the repair of failures caused by the use of devices or consumable items that are not DOCOMO specified.

■ Repairs may not be possible in the following cases

- When DOCOMO Repairs judges that this terminal is exposed to water. (Ex: the sticker is reacted to water)
- Repair is not possible when corrosion due exposure to moisture, condensation or perspiration is detected in a moisture seal reaction or test, or if any of the internal boards are damaged or deformed.

※ Since these conditions are outside the scope of the warranty, any repairs, if at all possible, will be charged.

■ After expiration of the warranty

All repairs that are requested are charged.

■ **Replacement parts**

Basically, replacement parts (parts required to maintain product function) will be kept in stock for at least 4 years after termination of production. Please note that the product may not be repaired even during this period, depending on the malfunctioning parts due to a shortage of those parts. Depending on the nature of the required repairs, it may still be possible to repair your terminal even after this period. Contact "Repairs" (Japanese only) listed on the back of this manual.

Pay attention

- Do not modify this terminal, the UIM or its accessories.
  - Fire, injury or damage may result.
  - If this terminal is modified (part replacement, modification, painting, etc.), it will be repaired only after the modified parts have been restored to the condition at the time of purchase. However, repair may be refused depending on the nature of modification.

    Things like following cases will be regarded as modification of this terminal.

    ･Using sticker to decorate this terminal

    ･Exchanging the packing with those other than DOCOMO product
  - Repair of failures or damage caused by modification are charged even during the warranty period.
- Do not remove any inscription stickers attached to this terminal. The inscription stickers certify that this terminal satisfies specific technical standards. If stickers are removed intentionally or are reattached in such a way that confirmation of the sticker's contents is impossible, repair or servicing may be refused because confirmation of whether or not the device conforms to relevant technical standards cannot be made.
- Information of settings for each function may possibly be cleared (reset) due to the malfunction, repair or other treatment of this terminal.
- Take this terminal to the service center when the inner of this terminal is exposed to water or moisture. However, repairs may not be available for some conditions depending on this terminal.

Updating Software

Download the modification file of this terminal from download site on the Internet and then update the software. If software update is necessary, you will be informed at the DOCOMO website with "お知らせ (Information)".

Note

- Do not unplug this terminal with the computer during software update.
- Software update (downloading and rewriting) may take a while.
- If software update fails, all operations become unavailable. In this case, bring this terminal to a DOCOMO service center.

Main Specifications

■ Operating system

Windows XP Home Edition Japanese version
(Service Pack 3 or later)
Windows XP Professional Japanese version
(Service Pack 3 or later)
Windows Vista 32bit Japanese version
(Service Pack 2 or later)
Windows Vista 64bit Japanese version
(Service Pack 2 or later)
Windows 7 32bit Japanese version
Windows 7 64bit Japanese version
Mac OS X 10.5.8 (32bit Japanese version)
Mac OS X 10.6.4 (32bit Japanese version)

■ Communication Speed

Up to 37.5Mbps for receiving data
Up to 12.5Mbps for sending data
(Part of the indoor facilities within Xi area can reach the speed of up to 75Mbps for receiving data and up to 25Mbps for sending data)

※ Communication speed is theoretical values when sending and receiving data which does not show the actual ones. The actual communication speed depends on communication environment and network congestion.

※ Depending on the bandwidth of Xi area, the theoretical values is 100/100/75/37.5Mbps for receiving speed (bandwidth[20/15/10/5MHz]) and 50/37.5/25/12.5Mbps for sending speed (bandwidth [20/15/10/5MHz)

※ Refer to DOCOMO website for detailed areas that support Xi.

※ Receiving data up to 7.2Mbps, sending data up to 5.7Mbps in FOMA HIGH-SPEED area out of Xi area.

※ Sending and receiving data may become up to 384kbps in the FOMA HIGH-SPEED area.

※ Sending and receiving data become up to 384kbps in FOMA area out of Xi area and FOMA HIGH-SPEED area.

■ Operating environments

Temperature : 5℃ to 35℃
Humidity : 45% to 85%

■ **Power source**

Power voltage

DC5V (Supplied from PC)

Max Current consumption※1

Max Current consumption while communicating

LTE: Approx. 680mA or below (5/10MHz)※2

3G: Approx. 520mA or below

GPRS: Approx. 570mA or below

Average Current consumption while communicating

LTE: Approx. 380mA or below (5/10MHz)※3

3G: Approx. 310mA or below

GPRS: Approx. 220mA or below

Average Current consumption while Standby:

LTE: Approx. 110mA or below

3G: Approx. 100mA or below

GPRS: Approx. 100mA or below

※1 Depending on the usage, power consumption fluctuates.

※2 Approx. 740mA or below for 15/20MHz.

※3 Approx. 420mA or below for 15/20MHz.

■ **Form factor**

USB connection type

■ **Dimensions**

Height: Approx. 90mm

Width: Approx. 35mm

Depth: Approx. 12.9mm

■ **Weight**

Approx. 44g

■ **JATE certification number**

AD10-0278001

Export Administration Regulations

Japan Export Control Regulations ("Foreign Exchange and Foreign Trade Law" and relevant laws and regulations) applies to this product and its accessories. If you export or re-export this product or its accessories, please follow the necessary procedures at your own risk and expense. For details on the procedures, contact the Ministry of Economy.

European Union Directives Conformance Statement

Hereby, LG Electronics, Inc. declares that this product is in compliance with:

- The essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC
- All other relevant EU Directives

CE 0168

The above gives an example of a typical Product Approval Number.

FCC Regulations

Statement

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Change or Modifications that are not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.

Class B Compliance

This device and its accessories comply with part15 of FCC rules.
Operation is subject to the following two conditions:

- This device & its accessories may not cause harmful interference.
- This device & its accessories must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Body-worn Operation

This device has been tested for typical body-worn operations with the distance of 0.19inches (0.5cm) from the user's body.
To comply with FCC RF exposure requirements, a minimum separation distance of 0.19inches (0.5cm) must be maintained from the user's body.

Consumer Information on SAR (Specific Absorption Rate)

THIS DEVICE MEETS THE GOVERNMENT'S REQUIREMENTS FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.
Your wireless device is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications 'Commission of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.

The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health. The exposure standard for wireless devices employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.
The SAR limit set by the FCC is 1.6W/kg.

※ Tests for SAR are conducted using standard operating positions specified by the FCC with the device transmitting at its highest certified power level, the actual SAR level of the device while operating can be well below the maximum value. This is because the device is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the power output.

Before a device is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the limit established by the government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed in positions and locations (e.g., worn on the body) as required by the FCC for each model.

The highest SAR value for this device when worn on the body is 0.77W/kg.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this device with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this device is on file with the FCC and can be found under the Display Gant section of http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ after searching on FCC ID BEJL02C. Additional information about Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications Industry Association (CTIA) website at http://www.ctia.org/.

Intellectual Property Rights

Copyrights and Rights of Portrait

Without permission of the copyright owner you may not duplicate, modify, transmit over public communication lines, etc. any document, image, music, software, or other content owned by a third party that you have used this product to download from an Internet website, etc., except for private uses such as duplication and indexing that are allowed by copyright law.

Trademarks

- "FOMA" "i-mode" "i-αppli" "mopera U" "WORLD WING" "Xi"and "Xi" logo are trademarks or registered trademarks of NTT DOCOMO, INC.
- Microsoft®, Windows®, Windows Vista® are trademarks or registered trademarks of Microsoft Corporation in United States and/or other countries.
- In this manual, each OS (Japanese version) is described in the following short form.
  - Windows 7 is short for Microsoft® Windows® 7(Starter, Home Basic, Home Premium, Professional, Enterprise, Ultimate).
  - Windows Vista is short for Windows Vista®(Home Basic, Home Premium, Business, Enterprise, Ultimate).
  - Windows XP is short for Microsoft® Windows® XP Professional operating system or Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system.
- OS may be written abbreviated such as Windows 7, Vista, XP.

- Apple, Apple logo, Mac, Mac OS, Macintosh are registered trademark of Apple Inc. of US and other countries.
- Adobe, Adobe Flash Player and Adobe Reader are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries.
- Other company names or product names mentioned in this work are the trademarks or registered trademarks of their respective owners.

Index

A

B

C

E

F

I

L

M

N

O

P

S

T

U

W

Z

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。

パソコンから My docomo（http://www.mydocomo.com/）⇒ 各種お申込・お手続き

※ パソコンからご利用になる場合、「docomo ID／パスワード」が必要となります。
※ 「docomo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

◎こんな場合は必ず本端末を接続しているパソコンなどの電源を切ってください。

■ **使用禁止の場所にいる場合**
航空機内、病院内では、必ず本端末を接続しているパソコンなどの電源を切ってください。
※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、本端末を接続しているパソコンなどの電源を切ってください。

■ **運転中の場合**
運転中の本端末のご使用は、安全走行の妨げとなり危険です。

■ **満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合**
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

■ **劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合**
静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

You can register a confirmation/change of contracts, or request information material at the DOCOMO online.

From a PC My docomo (http://www.mydocomo.com/) ⇒ 各種お申込・お手続き (Subscriptions/Procedures) (Japanese only)

※ "docomo ID/Password" is required if you access the site from a PC.
※ If you do not have or remember the "docomo ID/Password", contact the "docomo Information Center" listed on the back of this manual.
※ Some contracts may not be available for using.
※ You may not be able to use online service due to system maintenance, etc.

Don't forget your terminal… or your manners!

When using this terminal, be considerate and do not disturb people around you.

◎The following cases, be certain to turn off your PC in which this terminal is inserted.

■ **Where use is prohibited**
There are some places which this terminal can not be used. Be sure to turn off your PC in which this terminal is inserted.
※ Persons with electronic medical equipment are in places other than the actual wards. Make sure you have the power switched off even if you are in a lobby or waiting room.

■ **While driving**
Using this terminal interferes with safe driving and may be dangerous.

■ **When in crowded places such as packed trains, where you could be near a person with an implanted cardiac pacemaker or implanted defibrillator**
The implanted cardiac pacemaker or implanted defibrillator operation can be adversely affected.

■ **When in theaters, movie theaters, museums, and similar venues**
If you use this terminal where you are supposed to be quiet, you may disturb those around you.

総合お問い合わせ先
〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**151**（無料）

※一般電話などからはご利用いただけません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　午前9:00～午後8:00（年中無休）

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**113**（無料）

※一般電話などからはご利用いただけません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24時間　（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。

ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/

海外での紛失、盗難、精算などについて
〈ドコモ インフォメーションセンター〉（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6832-6600***（無料）

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

一般電話などからの場合
〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8000120-0151***

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

海外での故障について
〈ネットワークオペレーションセンター〉（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6718-1414***（無料）

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

一般電話などからの場合
〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8005931-8600***

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。

●お客様が購入された本端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　株式会社NTTドコモ

製造元　LG Electronics Inc.

PRINTED WITH SOY INK
大豆油インキを使用しています。

再生紙を使用しています　Printed in Korea

'10.12 (1.2版)
MFL67040001